

特 269

189

特別鑑査印書館蔵



始





特 269  
189

# 特別都市計畫提要目次

詔書……………一頁

攝政宮殿下ノ御沙汰……………三

内閣告諭號外……………

都市計畫法(大正八年四月五日法律第三十六號)……………

都市計畫法施行令(大正八年十一月二十八日勅令第四百八十二號)……………

都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件(大正八年十一月二十七日勅令第四百八十四號)……………

特別都市計畫法(大正十二年十二月二十四日法律第五十三號)……………

特別都市計畫法施行令(大正十三年三月十五日勅令第四十九號)……………

特別都市計畫法施行令第二十四條ノ規定ニ依ル土地區劃整理委員會ニ關スル件(大正十三年四月二日內務省令第十二號)……………

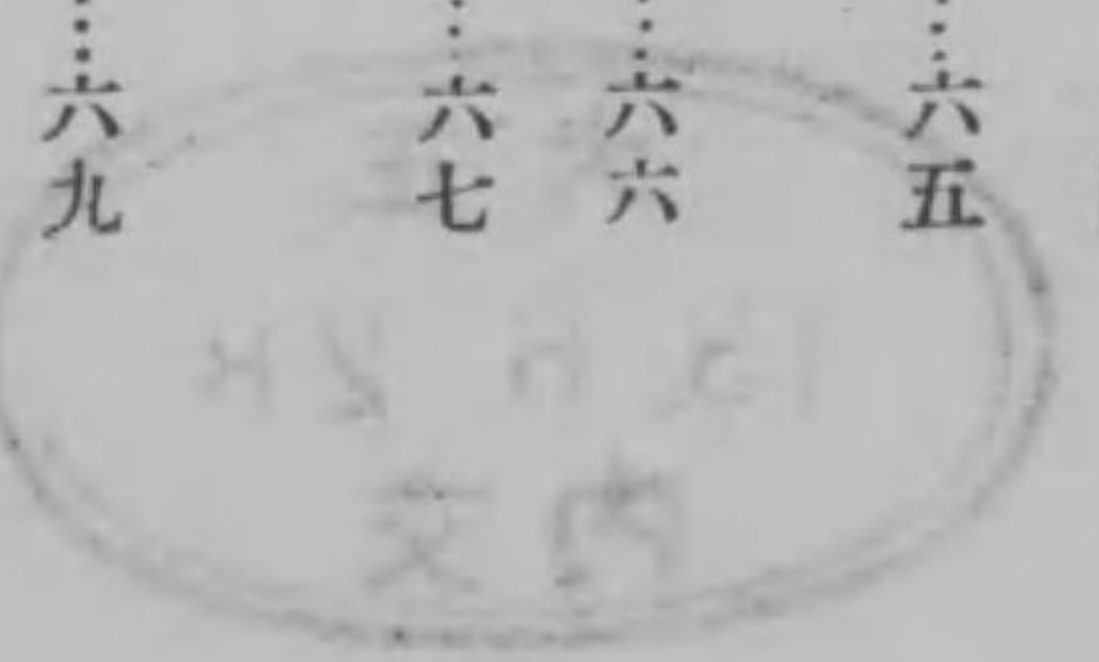
目次

大正  
13. 6. 28  
内交

四〇



市街地建築物法(大正八年四月四日).....	四三
市街地建築物法施行令(大正九年九月二十九日).....	四九
市街地建築物法適用區域(大正九年十一月十七日).....	六四
市街地建築物法ヲ適用スヘキ市町村名(大正十一年五月四日).....	六五
東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル假設建築物ニ關スル件(大正十二年九月十五日).....	六六
(勅令第四百十四號).....	六七
市街地建築物法適用區域内假設建築物ニ關スル件(大正十二年九月十七日).....	六七
(內務省令第三十三號).....	六七
耕地整理法(明治四十二年四月十三日).....	六九
(法律第三十號).....	六九
耕地整理法施行規則(明治四十二年十月十三日).....	一〇六
(農商務省令第三十九號).....	一〇六
借地法(大正十年四月八日).....	一三六
(法律第四十九號).....	一三六
借家法(大正十年四月八日).....	一四一
(法律第五十號).....	一四一



借地法及借家法施行期日及施行地區ニ關スル件(大正十年五月十三日).....	一四四
土地收用法(明治三十三年三月六日).....	一四七
(法律第二十九號).....	一四七
土地收用法施行令(明治三十三年三月三十日).....	一七〇
(勅令第九十九號).....	一七〇
土地收用法第六條ニ基キテ發スル命令ノ件(明治三十三年三月三十日).....	一七四
(勅令第三百號).....	一七四
土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件(明治三十三年三月三十日).....	一七九
(勅令第三百二號).....	一七九
土地收用法第八十五條第三項ニ基キテ發スル命令ノ件(明治三十三年三月三十日).....	一八〇
(勅令第三百三號).....	一八〇
行政執行法抄(明治三十三年六月二日).....	一八一
(法律第八十四號).....	一八一
行政執行法施行令抄(明治三十三年六月二日).....	一八三
(勅令第二百五十三號).....	一八三

特別都市計畫委員會官制(大正十三年二月一日).....	一八五
(勅令第十四號).....	一八五
復興局官制(大正十三年二月二十三日).....	一八九
(勅令第二十六號).....	一八九



復興局分課規程(大正十三年二月).....一九三  
 復興局出張所分掌區域(大正十三年三月十一日).....二〇三  
 (內務省告示第百十八號)

東京都市計畫街路ノ新設、改修及運河ノ新鑿、改修並都市計畫事業及其ノ  
 執行年割決定ノ件(大正十三年三月十一日).....二〇五  
 (內閣總理大臣認可公告)  
 橫濱都市計畫街路ノ新設、改修並都市計畫事業及其ノ執行年割決定ノ件  
 (大正十三年三月十一日).....二二五  
 (內閣總理大臣認可公告)

東京都市計畫事業及橫濱都市計畫事業中內務大臣ニ於テ執行ノ件  
 (大正十三年三月十七日).....二三〇  
 (內務省告示第百二十九號)  
 東京都市計畫補助街路ノ新設、改修事業及其ノ執行年割決定ノ件  
 (大正十三年三月二十日).....二三一  
 (內務省告示第百三十三號)  
 東京都市計畫土地區劃整理施行區域(大正十三年三月二十日).....二三三  
 (內務省告示第百三十一號)  
 東京都市計畫土地區劃整理事業及其ノ執行年割決定ノ件(大正十三年三月二十日).....二三八  
 (內務省告示第百三十二號)

東京都市計畫土地區劃整理ニ依ル街路ノ新設、改修ノ件(大正十三年四月一日).....二三九  
 (內務省告示第百七十一號)  
 東京都市計畫土地區劃整理施行區域內內務大臣執行地區(大正十三年三月二十七日).....二四〇  
 (內務省告示第百五十四號)  
 東京都市計畫土地區劃整理施行區域內東京市長執行地區(大正十三年三月二十七日).....二四六  
 (東京市告示第百一十一號)  
 內務大臣執行東京都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理委員定數  
 (大正十三年四月十四日).....二六四  
 (內務省告示第百九十號)  
 東京市長執行東京都市計畫土地區劃整理施行地區ニ於ケル土地區劃整理委員定數  
 (大正十三年四月十四日).....二六六  
 (東京市告示第百三十九號)  
 東京都市計畫事業下水道設計第二區工事執行年限延長及年割變更ノ件  
 (大正十三年三月二十九日).....二七一  
 (內務省告示第百六十二號)  
 東京都市計畫公園新設並都市計畫事業及其ノ執行年割決定ノ件(大正十三年四月一日).....二七二  
 (內務省告示第七十號)  
 東京都市計畫公園新設事業內務大臣ニ於テ執行ノ件(大正十三年四月二十四日).....二七四  
 (內務省告示第百九十八號)  
 東京都市計畫下水道復舊並都市計畫事業及其ノ執行年割決定ノ件



(大正十三年四月一日)  
内務省告示第七十二號

六

東京府知事執行東京都市計畫街路ノ新設、擴張事業執行年割變更ノ件

二七五

(大正十三年四月一日)  
内務省告示第七十三號

二七七

目次終

# 特別都市計畫提要

## ○詔書

朕神聖ナル祖宗ノ洪範ヲ紹キ光輝アル國史ノ成跡ニ鑑ミ皇考中興ノ宏謨ヲ繼承シテ肯テ愆ヲサラムコトヲ庶幾シ夙夜兢業トシテ治ヲ圖リ幸ニ祖宗ノ神祐ト國民ノ協力トニ賴リ世界空然ノ大戰ニ處シ尙克ク小康ヲ保ツテ得タリ爰ソ圖ラム九月一日ノ激震ハ事咄嗟ニ起リ其ノ震動極メテ峻烈ニシテ家屋ノ潰倒男女ノ慘死幾萬ナルヲ知ラス剩ヘ火災四方ニ起リテ炎燄天ニ沖リ京濱其ノ他ノ市邑一夜ニシテ焦土ト化ス此ノ間交通機關杜絶シ爲ニ流言飛語盛ニ傳ハリ人心恟々トシテ倍々其ノ慘害ヲ大ナラシム之ヲ安政當時ノ震災ニ較フレハ寧口凄愴ナルヲ想知セシム

朕深ク自ラ戒慎シテ已マサルモ惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク只速ニ人事ヲ盡シテ民心ヲ安定スルノ一途アルノミ凡ソ非常ノ秋ニ際シテハ非常ノ果斷ナカルヘカラス若シ夫レ平時ノ條規ニ膠柱シテ活用スルコトヲ悟ラス緩急其ノ宜ヲ失シテ前後ヲ誤リ或ハ個人若クハ一會社ノ利益

詔書

一



保障ノ爲ニ多衆災民ノ安固ヲ脅スカ如キアラハ人心動搖シテ抵止スル處ヲ知ラス朕深ク之ヲ憂傷シ既ニ在朝有司ニ命シ臨機救濟ノ道ヲ講セシメ先ツ焦眉ノ急ヲ拯フテ以テ惠撫慈養ノ實ヲ舉ケムト欲ス

抑モ東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ樞軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル所ナリ一朝不慮ノ災害ニ罹リテ今ヤ其ノ舊形ヲ留メスト雖依然トシテ我國都タルノ地位ヲ失ハス是ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ回復スルニ止マラス進ンテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目ヲ新ニセサルヘカラス惟フニ我忠良ナル國民ハ義勇奉公朕ト共ニ其ノ慶ニ賴ラムコトヲ切望スヘシ之ヲ慮リテ朕ハ宰臣ニ命シ速ニ特殊ノ機關ヲ設定シテ帝都復興ノ事ヲ審議調査セシメ其ノ成案ハ或ハ之ヲ至高顧問ノ府ニ諮ヒ或ハ之ヲ立法ノ府ニ謀リ籌畫經營萬遺算ナキヲ期セムトス

在朝有司能ク朕カ心ヲ心トシ迅ニ災民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ一般國民亦能ク政府ノ施設ヲ翼ケテ奉公ノ誠悃ヲ致シ以テ興國ノ基ヲ固ムヘシ朕前古無比ノ天殃ニ際會シテ郵民ノ心愈々切ニ寢食爲ニ安カラス爾臣民其レ克ク朕カ意ヲ體セヨ

御名 御璽

攝政名

大正十二年九月十二日

各大臣副署

### ○攝政宮殿下ノ御沙汰

攝政宮殿下ハ大正十二年九月三日午後六時三十分山本内閣總

理大臣ヲ赤坂離宮ニ召サセラレ左ノ御沙汰ヲ賜ハリタリ

今回稀有ノ大地震東京及近縣ヲ襲ヒ之ニ加フルニ大火ヲ以テシテ其ノ慘害甚タ大ナルハ實ニ國家生民ノ不幸ナリ予ハ其ノ實況ヲ見聞シテ日夜憂戚シ殊ニ罹災者ノ境遇ニ對シテハ心深ク之ヲ傷ム茲ニ内帑ヲ頒チテ其ノ苦痛ノ情ヲ慰メント欲ス官民其レ協力シテ適宜應急ノ處置ヲ爲シ以テ遺憾ナキヲ期セヨ

### ○内閣告諭號外

攝政宮殿下ノ御沙汰 内閣告諭號外



我至仁至慈ナル 天皇陛下ニハ今回震災ノ被害極メテ慘烈ナルヲ深く軫念アラセラレ難ニ内帑ノ資壹千萬圓ヲ下シ賜ヒ今亦 大詔ヲ煥發シテ惠撫慈養ノ道ヲ示シ給フ不肖就任後日尙淺ク此ノ 風命ヲ拜シテ恐懼措ク所ヲ知ラス敢テ帝都復興ノ計ヲ立テ以テ上ハ 宸襟ヲ安シ奉リ下ハ數百萬罹災者ヲシテ生活ノ安定ヲ得シメムコトヲ期ス

今回ノ震災ハ其ノ區域一府四縣ニ跨リ東京ヲ始メトシテ横濱其ノ他湘南房總ノ地特ニ被害ノ劇シキモノアリ家屋ヲ燒盡シ父母骨肉ヲ喪ヒタル幾百萬ノ災民ハ殘壁燬瓦ノ間ニ竝ミテ食フニ糧ナク著ルニ衣ナク焦髮爛身命且夕ニ迫ル者比々皆然リ在留外國官民ノ遭難者亦甚多シ是レ不肖ノ共ニ心痛已マサル所ナリ此ノ時ニ際シ友邦ノ元首ヲ始メ各國官民ノ今次事變ニ對シ至大ナル救援ノ厚情ヲ表セラレタルハ不肖同胞ト共ニ感謝措ク能ハス但夫レ多數罹災民ハ概ネ能ク危急ヲ冒シ艱苦ニ耐ヘ沈著ノ態度ヲ失ハサリシモ此ノ間多少ノ常軌ヲ逸シタル者アルヲ免カレス此ノ如キハ一時ノ誤解ニ外ナラサリシヲ以テ今ヤ全ク其ノ跡ヲ絶テリ

固ヨリ今次ノ變災ニ方リ政府ハ夙ニ臨機ノ措置ヲ取り戒嚴令ヲ布キ糧食ノ供給假舍ノ急築ニ著手シ極力流言飛語ヲ禁遏シ非違ヲ警メ民間亦政府ト相呼應シテ賑恤救護ノ義舉ニ出ツル者多ク爲ニ焦眉

ノ急ヲ拯フコトヲ得タリト雖一時ノ救恤ハ以テ災民持久ノ生活ヲ保障スルニ足ラス是ヲ以テ政府ハ銳意水陸交通ノ復活ヲ圖リ財政ノ許ス限リニ於テ金融機關ノ圓滑ヲ期シ衣食住ニ關スル必需品ヲ調達シテ遭難地方ニ提供シツツアリ此ノ場合ニ際シテハ官民俱ニ平時ノ條規ニ膠柱セス公道ニ基キ人情ヲ酌ミ便宜責任ヲ負ヒテ變通ノ道ヲ開カムコトヲ切望ス

憂フル所ハ此ノ稀有ノ天災ヲ奇貨トシ個人又ハ會社ノ生活必需品ヲ運用シ機ヲ見テ暴利ヲ征セムトスルニ在リ此ノ如キハ最モ戒飭セサルヘカラサル所ニシテ 聖慮ヲ注カセ給フ所亦此ニ存ス各自能ク其ノ公德心ニ訴ヘテ私利ヲ後ニシ以テ多數同胞ト苦樂ヲ共ニスルノ覺悟アルヲ要ス例ヘハ保險事業ノ如キハ其ノ性質上社會公衆ノ安固ヲ目的トスルモノナルヲ以テ此ノ重大ナル事變ニ顧ミ幾千萬ノ信賴ニ負カサルヤウ犠牲ノ精神ヲ發揮シテ慎重ノ考慮ヲ盡シ當業者終局ノ利益ヲ期スヘク其ノ他米穀木材船舶等ノ當業者亦俱ニ營利ノ目的ヲ離レテ物資ノ配給ニ勉メ以テ同胞共榮ノ美ヲ濟ササルヘカラス

政府ハ今ヤ極力物資ヲ豊富ニシテ之ヲ震災地ニ急送セシメ都鄙ノ別ナク之カ公平ナル分配ニ勉メツツアリ局ニ當ルノ所在官公吏ハ益々物資供給ノ敏活ヲ期シテ之カ普及ニ努力スヘク一般官公吏亦此



ノ非常ノ場合ニ處シ心身ノ許ス限リ職務ニ執掌スヘシ殊ニ治安ノ任ニ在ル者ニ至リテハ懇切ニ民衆ヲ勞ハルト共ニ嚴密ニ非違ヲ警メ以テ其ノ責務ヲ完ウスヘシ

願フニ東京ハ先帝登極ノ初特ニ車駕東幸シテ親シク宮城ヲ定メサセ給ヒシ所爾來五十有六年ノ星霜ヲ閱シテ國都ノ規模既ニ備ハリ政治經濟ノ樞軸トナリ文教風化ノ淵藪トナリ中外ノ俱ニ瞻望スル所ナリ之ヲ復興スルノ努力如何ハ世界列國ノ環視スル所我邦實力如何ヲ知ルノ試金石亦此ニ在リ是ノ故ニ帝都ノ復興ハ單ナル一市府ノ問題ニ非スシテ實ニ帝國ノ隆運ヲ進暢スル國家重要ノ事業タリ隨ツテ其ノ方策ハ聖旨ヲ奉戴シ營ニ舊時ノ盛觀ヲ回復スルノミニ止マラス更ニ進テ將來ノ發展ヲ豫想シ之カ計畫ヲ立テサルヘカラス之カ爲政府ハ先ツ帝都復興審議會ヲ特設シ朝野ノ衆智ヲ集メテ重要ノ案件ヲ審議シ別ニ適當ノ機關ヲ設ケ緩急序ヲ逐フテ著々其ノ成案ヲ實施セシメ以テ國都タルノ實ヲ完ウセシムコトヲ期ス

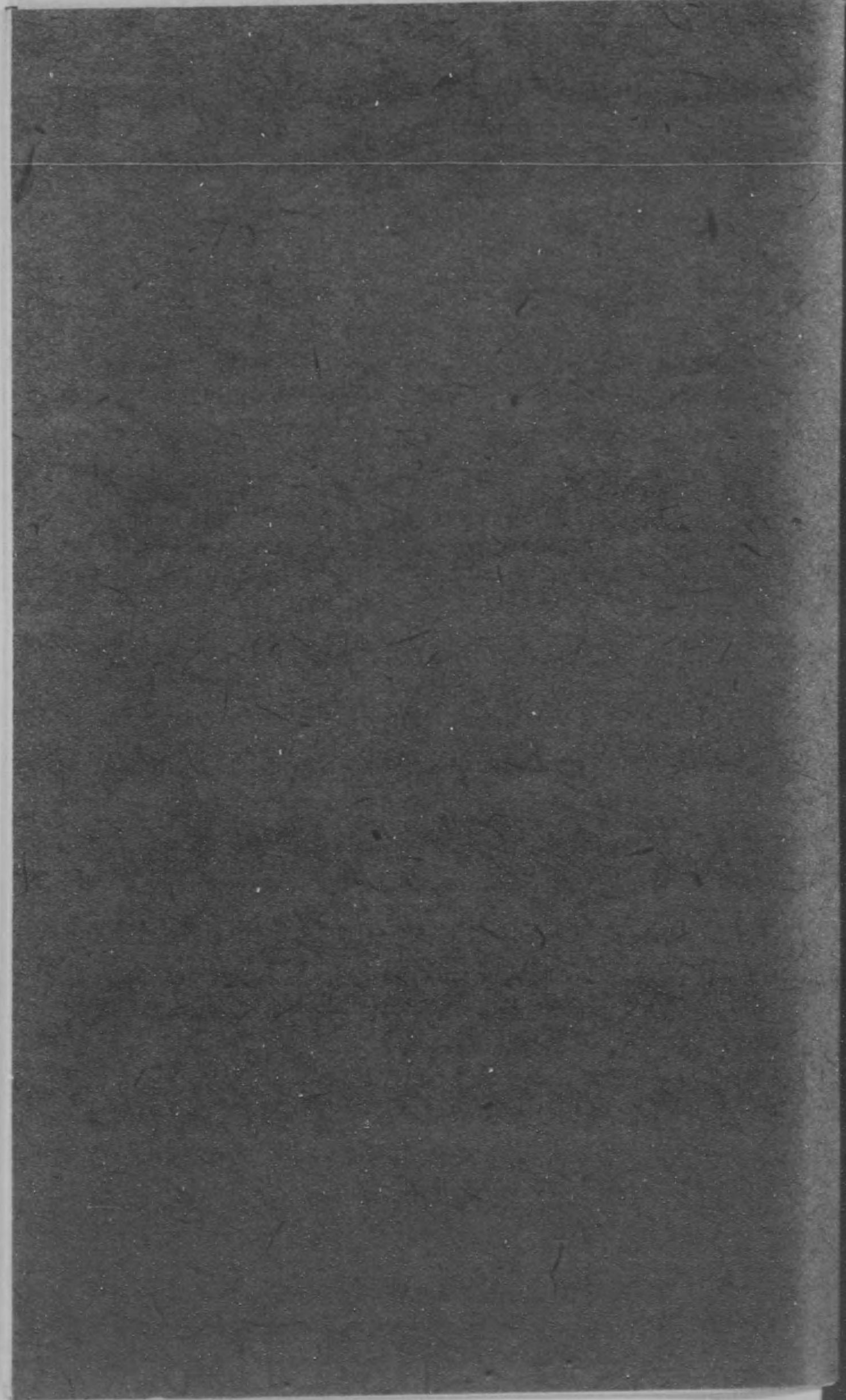
茲ニ恭シク大詔ヲ奉讀シテ仁慈ノ渥キニ感激シ恐懼已ム無シ熟々考フルニ昌平日久シクシテ人心漸ク浮華ニ流レ放縱ニ走り歷代ノ内閣累次ニ訓示策勵スレトモ積弊ノ馴致スル所容易ニ頽風ノ一轉ヲ見ス今ヤ非常ノ難局ニ際會シテ宸襟ヲ惱シ奉ルコト此ノ如シ是レ朝野一般竦然トシテ大ニ覺醒

スヘキノ秋ナリ願ミレハ罹災府縣數百萬ノ同胞ハ骨肉ニ別レ住家ニ離レ今尙短褐雨露ニ暴サレ一掬ノ玄米ニ縷命ヲ繫クノ情態ニ沈淪セリ苛モ之ニ同情セハ人々相戒メテ華ヲ去リ實ニ就キ質素勤儉依テ得ル所ノ餘力ヲ以テ罹災同胞ノ救護ニ應シ同心協力進テ帝都復興ノ難事業ニ至大ノ援助ヲ與ヘ興國ノ基ヲ固ウシ以テ聖慮ニ副ヒ奉ルハ不肖ノ切望シテ已マサル所ナリ

大正十二年九月十六日

内閣總理大臣 伯爵 山本 權兵衛





The text on this page is extremely faint and illegible. It appears to be a list or a series of entries, possibly a table of contents or a list of names and dates. The text is arranged in several columns, but the individual words and numbers are too light to read. The overall appearance is that of a very old or faded document.



# ○都市計畫法

(大正八年四月五日)(大正十二年三月)  
法律第三十六號(法律第二十七號改正)

第一條 本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衛生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ増進スル爲ノ重要施設ノ計畫ニシテ市ノ區域内ニ於テ又ハ其ノ區域外ニ互リ執行スヘキモノヲ謂フ

第二條 前條ニ規定スル市ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス其ノ市ノ都市計畫區域ハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 都市計畫、都市計畫事業及毎年度執行スヘキ都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ決定シ内閣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 都市計畫委員會ノ組織、權限及費用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 都市計畫事業ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳之ヲ執行ス

主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非サル者ヲシテ其ノ出願ニ依リ都市計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得



第六條 都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七條 主務大臣必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依リ公共團體ノ負擔スヘキ毎年度ノ金額ノ最低限度ヲ定ムルコトヲ得

第八條 公共團體ハ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツル爲左ノ特別稅ヲ賦課スルコトヲ得但シ府縣費ヲ市ニ分賦スル場合ニ於テ市カ營業稅、雜種稅又ハ家屋稅ヲ賦課スルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ其ノ稅率ヲ定ムヘシ

- 一 地租割 地租百分ノ十二半以内
- 二 國稅營業稅割 國稅營業稅百分ノ二十二以内
- 三 營業稅、雜種稅又ハ家屋稅 各府縣稅十分ノ四以内

四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノ

公共團體ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ公共團體ノ他ノ收入ヲ以テ第四條又ハ第六條ノ費用ニ充ツルコトヲ得

第九條 都市計畫區域内ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ第六條ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第十條 都市計畫區域内ニ於テ市街地建築物法ニ依ル地域又ハ地區ノ指定、變更又ハ廢止ヲ爲ストキハ都市計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スヘシ

都市計畫區域内ニ於テハ市街地建築物法ニ依ル地域及地區ノ外土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ風致又ハ風紀ノ維持ノ爲特ニ地區ヲ指定スルコトヲ得

第十一條 第十六條第一項ノ土地ノ境域内又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ指定スル地區内ニ於ケル建築物、土地ニ關スル工事又ハ權利ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 都市計畫區域内ニ於ケル土地ニ付テハ其ノ宅地トシテノ利用ヲ増進スル爲土地區劃整理



ヲ施行スルコトヲ得

一一二

前項ノ土地區劃整理ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外耕地整理法ヲ準用ス

第十三條 都市計畫トシテ内閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年內ニ其ノ施行ニ著手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫事業トシテ之ヲ施行セシム

前項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付耕地整理法ヲ準用シ難キ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十四條 地方長官土地區劃整理ノ設計ニ關スル認可ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

第十六條 道路、廣場、河川、港灣、公園其ノ他勅令ヲ以テ指定スル施設ニ關スル都市計畫事業ニシテ内閣ノ認可ヲ受ケタルモノニ必要ナル土地ハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテノ建築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

第十七條 土地區劃整理ノ爲又ハ衛生上若ハ保安上ノ必要ニ依ル建築物ノ整理ノ爲必要アルトキハ建築物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得

第十八條 前二條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ適用ス

前項ノ規定ニ依ル土地收用法ノ適用ニ付テハ前條ノ工作物ハ之ヲ土地ト看做ス

第十九條 第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第三條ノ規定ニ依ル都市計畫ノ認可ヲ以テ土地收用法ニ依ル事業ノ認定ト看做ス

第二十條 土地收用法第二十二條第一項ノ協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ損失ノ補償ノ協議ニ關シテハ之ヲ適用セス

第二十一條 第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地及第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ處分及管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム



第二十二條 都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理ニ付特ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ管理者ヲ定ム

第二十三條 行政執行法第五條及第六條ノ規定竝之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ行政廳カ強制スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位竝其ノ追徵還付及時效ニ付テハ行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ

因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

第二十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年十一月勅令第四百八十一號ヲ以テ同九年一月一日ヨリ施行）

第二十八條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則及大正七年法律第三十六號竝之ニ基キテ發シタル命令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條 東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受クル市ハ第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス

第三十條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル設計又ハ議定シタル事業ハ各本法ニ依リ内閣ノ認可ヲ受ケタル都市計畫又ハ都市計畫事業ト看做ス

第三十一條 東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則若ハ大正七年法律第三十六號又ハ之ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル處分ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セサル限り本法ニ依リ爲シタル處分ト看做ス



第三十二條 東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ關シテハ同規則第一條第二項乃至第四項ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第三十三條 東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號大正七年勅令第八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ河岸地ヨリ收入スル金額ハ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終ル迄之ヲ他ニ支出スルコトヲ得ス

第一項ノ河岸地ノ下付ヲ受ケタル市ハ之ヲ賣却讓與スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ都市計畫委員會ノ議決ヲ經テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

### ○都市計畫法施行令

(大正八年十一月二十八日) (大正十年十月勅令) (勅令第四百八十二號) (第四百十六號改正)

第一條 都市計畫事業ハ都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ指定スル市ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行ス

第二條 前條ノ市ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ互リ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ内務大臣區域外ニ於ケル事業カ主トシテ區域外ノ公共團體ノ利害ニ關スト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス其ノ公共團體ヲ統轄スル行政廳ヲシテ區域外ニ於ケル事業ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 内務大臣都市計畫事業カ分割シテ之ヲ執行スルコト困難又ハ不利益ト認ムルトキ其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス事業ヲ執行スヘキ行政廳ヲ指定スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ行政官廳都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ之ヲ適用セス

第五條 行政廳ニ非サル者ヲシテ執行セシムルコトヲ得ル都市計畫事業ノ種類及範圍ハ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム

第六條 行政廳ニ非サル者都市計畫事業ヲ執行セムトスルトキハ内務大臣ニ特許ヲ申請スヘシ

第七條 内務大臣ハ前條ノ特許ニ都市計畫上其ノ他公益上必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

都市計畫法施行令

一七



第八條 第六條ノ特許ヲ受ケタル者事業ヲ實施セムトスルトキハ設計書ヲ添附シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス

- 一 行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ
- 二 事業地ノ公共團體以外ノ公共團體ヲ又ハ上級公共團體ヲ統轄スル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ
- 三 事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ
- 四 前各號ノ外都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニシテ内務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ

第十條 都市計畫法第六條第二項ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ金額及其ノ負擔方法ニ付テハ關係市町村長ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ内務大臣之ヲ定ム

第十一條 都市計畫法第十六條第一項ノ土地ノ境域内ニ於テ工作物ヲ新築改築増築若ハ除却シ、土地ノ形質ヲ變更シ又ハ地方長官ノ指定シタル竹木土石ノ類ヲ採取セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 地方長官ハ前條ノ許可ニ都市計畫事業ノ執行上必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

第十三條 風致維持ノ爲指定スル地區内ニ於ケル工作物ノ新築改築増築若ハ除却、土地ノ形質ノ變更、竹木土石ノ類ノ採取其ノ他風致維持ニ影響ヲ及ホス虞アル行爲ハ地方長官内務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十四條 地方長官ハ第十一條ノ規定ニ、前條ノ命令ニ又ハ第十二條ノ條件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十五條 都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依ル公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ハ内務大臣之ヲ命ス

第十六條 前條ノ土地區劃整理ノ施行ニ要スル費用ハ整理地區内ノ土地所有者又ハ關係人ノ負擔トス



第十七條 公共團體第十五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ設計書、費用負擔方法及耕地整理法第三十條第二項ノ規約ニ代ルヘキ處分方法ヲ定メテ之ヲ告示シ十日間土地所有者及關係人ノ縦覽ニ供シタル後地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人前項ノ設計書、費用負擔方法又ハ處分方法ニ關シ異議アルトキハ前項ニ掲クル期間内ニ地方長官ニ之ヲ申出ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル異議ノ申出アリタルトキハ地方長官ハ都市計畫委員會ノ議決ニ付スヘシ

地方長官ハ前項ノ議決カ設計書、費用負擔方法又ハ處分方法ノ變更ヲ必要トスルトキハ公共團體ニ其ノ變更ヲ命スヘシ公共團體カ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ變更シタル部分ニ付第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 前二條ノ土地所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ耕地整理法ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 第十五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テノ耕地整理法ノ準用ニ關シテハ同法第四十二條ノ二、第四十七條及第四十八條ノ組合ハ土地區劃整理ヲ施行スル公共團體トシ同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ土地區劃整理ノ地區トス

第二十條 土地區劃整理施行ノ土地ノ地價ニ關シテハ耕地整理法第十二條、第十三條、第十四條第二項乃至第五項及第十四條ノ二乃至第十六條ノ規定ヲ準用ス

土地區劃整理ヲ施行スルニ當リ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ従前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價ヲ以テ耕地整理法第十三條第一項ノ現地價トス

前項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ於テ之ヲ耕地整理法第十四條第二項、第三項及第五項並第十五條ノ規定中同法第十四條第一項ノ規定ト看做ス

第二十一條 鐵道、軌道、運河、水道、下水道、土地區劃整理、運動場、一團地ノ住宅經營、市場、屠場、墓地、火葬場及塵埃燒却場ハ都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ指定ス

第二十二條 都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ハ土地區劃整理ヲ施行スル必要アル場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 前條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ハ土地區劃整理ノ工事完了後ニ非サレハ之ヲ賣却シ又ハ貸付スルコトヲ得ス



第二十四條 前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却又ハ貸付ハ左ニ掲クル者ニ對シ每筆競争入札ニ依リテ之ヲ行フ

- 一 其ノ土地ノ附近地カ都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ收用セラレタル場合ニ於テ其ノ收用セラレタル附近地ノ全部又ハ一部ヲ收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人
- 二 前號ノ附近地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ附近地收用ノ際所有シタル者
- 三 其ノ土地ノ全部又ハ一部ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者又ハ其ノ相續人
- 四 其ノ土地ノ上ニ存シタル家屋ヲ其ノ土地收用ノ際所有シタル者

前項ニ掲クル者一人ナルトキハ其ノ者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得サル土地ノ賣却又ハ貸付ニ付テハ一般ノ競争入札ニ依ル

第二十六條 一宅地ヲ爲スニ足ラサル殘地ハ隣地所有者ニ對シ隨意契約ニ依リ賣却又ハ貸付スルコトヲ得

第二十七條 都市計畫事業ニ要スル國有地ハ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔スル公共團體ヲシテ無

償ニテ之ヲ供用セシメ其ノ地ニ存スル國有ノ建築物ハ無償ニテ其ノ公共團體ニ之ヲ交付ス

第二十八條 都市計畫法第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地ハ都市計畫事業ノ財源ト爲ス爲基  
本財産トシテ管理スヘシ但シ特別ノ事由ニ依リ内務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス  
第二十九條 公共團體ハ第二十三條ノ土地ノ賣却若ハ貸付ニ付又ハ都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地若ハ前二條ノ土地ノ管理方法ニ付必要ナル規定ヲ定メ地方長官ヲ經由シ  
内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條 内務大臣必要ト認ムルトキハ都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理者ヲ指定スルコトヲ得

附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年一月一日ヨリ施行)



# ○都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件

(大正八年十二月二十七日  
勅令第四百八十四號)

耕地整理登記令ハ都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ノ地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ之ヲ準用ス

## 附則

本令ハ都市計畫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年一月一日ヨリ施行)

# ○特別都市計畫法(大正十二年十二月二十四日 法律第五十三號)

第一條 本法ニ於テ特別都市計畫ト稱スルハ東京及横濱ニ於ケル都市計畫ヲ謂フ

第二條 行政官廳特別都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係公共團體ヲシテ其ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三條 土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第三十一條ノ規定ニ拘ラス換地處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 土地區劃整理ヲ施行スル爲メ土地區劃整理組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テ土地所有者同意ヲ爲スニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ借地法ニ謂フ借地權者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス  
前項ノ借地權者ハ登記ナキモ耕地整理法第二條ノ二ノ規定ニ依リ前項ノ組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得

第五條 行政廳又ハ公共團體カ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ設計、換地處分及第八條第一

都市計畫法ニ依ル土地區劃整理ニ關スル登記ノ件 特別都市計畫法



項ノ補償金ノ配當ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者及借地法ニ謂フ借地權者ヲ以テ組織スル土地區劃整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム

第六條 前條ノ土地區劃整理施行ノ爲必要アルトキハ換地豫定地ヲ指定シテ土地區劃整理施行地區内ニ存スル建物其ノ他ノ工作物ノ所有者ニ對シ其ノ移轉ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クトモ三月前ニ所有者及占有者ニ其ノ旨ヲ豫告スヘシ  
所有者又ハ占有者カ前項ノ移轉ニ因リテ損害ヲ受ケタルトキハ其ノ通常受クヘキ損害ニ限り之ヲ補償スヘシ

前項ノ規定ニ依ル補償金ハ補償審査會之ヲ決定ス  
耕地整理法第二十五條並土地收用法第八十二條第一項及第二項ノ規定ハ第二項ノ規定ニ依ル補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第七條 第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、渾河其ノ他ノ公共ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地ハ其ノ施行ニ要スル費用ヲ負擔スル國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入ス  
前項ニ規定スル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル其ノ編入ニ關シテモ亦同シ

第八條 第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ土地區劃整理施行地區内ニ於ケル施行後ノ宅地ノ總面積カ施行前ノ宅地ノ總面積ヨリ一割以上ヲ減少スルニ至リタルトキハ其ノ一割ヲ超ユル部分ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ補償金ヲ交付スルコトヲ要ス

前項ノ宅地トハ勅令ニ依リ公共ノ用ニ供スル土地ト定ムルモノ以外ノ土地ヲ謂フ

第六條第三項及第四項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ關シ之ヲ準用ス

第九條 都市計畫法第十三條第二項ノ規定ハ第五條ノ土地區劃整理ニ之ヲ準用ス

第十條 補償審査會ハ主務大臣ノ監督ニ屬ス

補償審査會ハ會長一人及委員十四人ヲ以テ之ヲ組織ス

會長ハ關係各廳高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ主務大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス  
委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ主務大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

一 關係各廳高等官 三人

二 關係府縣高等官 二人

三 關係府縣市參事會員 六人

特別都市計畫法



四 學識經驗アル者

三人

二八

前項第二號及第三號ノ規定ニ依ル委員ハ關係府縣市ニ關セサル事項ニ付議事ニ參與スルコトヲ得ス

補償審査會ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第十一條 都市計畫法第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○特別都市計畫法施行令

(大正十三年三月十五日 勅令第四十九號)

第一條 行政官廳ノ執行スル特別都市計畫事業ニ付關係公共團體ニ負擔セシムル費用ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 道路(道路ノ附屬物及廣場ヲ含ム)費 二分ノ一以内
- 二 運河費 四分ノ一以内
- 三 公園費 四分ノ一以内

前項ノ規定ニ依ル負擔金ノ額及其ノ納付時期等ハ內務大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第二條 特別都市計畫又ハ特別都市計畫事業トシテ内閣ノ認可ヲ受クタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第三條 本令ニ於テ借地權ト稱スルハ借地法ニ謂フ借地權ヲ謂フ

第四條 土地所有者特別都市計畫法第四條第一項ノ規定ニ依リ借地權者ノ同意ヲ得ル場合ニ於テ其ノ所有地ニ數人ノ借地權者アルトキハ其ノ總數ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

特別都市計畫法施行令

二九



前項ノ規定ノ適用ニ付テハ共同シテ借地權ヲ有スル者ハ之ヲ一人ト看做シ總數ノ二分ノ一以上ノ同意アリタルトキハ其ノ同意アリタルモノト看做ス

同一ノ土地ニ付借地權者數人アル場合ニ於テハ現ニ土地ヲ使用スル權利ヲ有スル者ヲ以テ第一項ノ借地權者ト看做ス

第五條 行政廳又ハ公共團體カ特別都市計畫法第五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ整理施行地區ヲ告示スヘシ

第六條 土地區劃整理委員會ハ整理施行地區毎ニ之ヲ置ク

整理委員會ハ整理施行地區内ノ土地所有者及借地權者カ各別ニ選舉スル整理委員ヲ以テ之ヲ組織ス

整理委員ノ定數ハ土地所有者ノ選舉スル者及借地權者ノ選舉スル者ニ付各同數トシ整理施行者之ヲ定ム

整理委員ノ定數ハ選舉期日ヨリ起算シ少クトモ二十日前ニ之ヲ告示スヘシ

第七條 土地所有者又ハ借地權者整理委員ヲ選舉スル場合ニ於テハ之ト同數ノ補闕委員ヲ選舉スヘシ

シ

第八條 整理委員及補闕委員ハ整理施行地區内ニ於テ土地所有者ニ在リテハ土地所有者ヨリ、借地權者ニ在リテハ借地權者ヨリ之ヲ選舉ス

前項ノ規定ハ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ關シ之ヲ適用セス

第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ土地ノ共有者又ハ共同シテ借地權ヲ有スル者ハ各之ヲ一人ト看做シ其ノ者ノ中ヨリ定メタル代表者ヲ以テ第一項ノ土地所有者又ハ借地權者ト看做ス

第四條第三項ノ規定ハ第一項ノ借地權者ニ之ヲ準用ス

第九條 選舉期日ハ整理施行者之ヲ定メ其ノ日ヨリ起算シ少クトモ二十日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十條 第八條ノ土地所有者及借地權者ハ前條ノ告示アリタル日ヨリ起算シ七日以内ニ住所、氏名並權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ具シ整理施行者ニ申告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ登記ナキ借地權者ハ其ノ權利ヲ證スヘキ書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テ整理施行者ハ土地所有者又ハ登記アル借地權者ニ對シ其ノ權利ヲ證スヘキ書類ノ提出ヲ命スルコトヲ得



第十一條 整理施行者ハ前條ノ申告ニ基キ選舉人名簿ヲ調製シ選舉期日ヨリ起算シ七日前ヨリ三日間之ヲ縦覽ニ供スヘシ

第十二條 選舉人名簿ニ異議アル者ハ縦覽期限内ニ證憑書類ヲ添附シ整理施行者ニ之ヲ申立ツヘシ  
第十條第一項ノ申告後權利ヲ取得シタル者ニ付亦同シ

第十三條 整理施行者前條ノ異議ノ申立ヲ受ケタルトキハ之ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ旨申立人及關係人ニ通知スルト共ニ之ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ其ノ旨申立人ニ通知スヘシ

第十四條 整理施行者ハ投票所及投票時間ヲ定メ選舉期日ヨリ起算シ少クとも七日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ整理委員及補闕委員ノ各選舉ニ付一人一票トス

投票用紙ハ整理施行者選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付ス

選舉人ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ整理委員及補闕委員ニ付被選舉人各一人ノ氏名ヲ各別ノ投票用紙ニ記載シテ投票スヘシ

投票ハ代人ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ代人ハ本人ノ委任狀ヲ選舉長ニ提出スヘシ

第十六條 選舉人名簿ニ登載セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス

第十七條 整理施行者ハ所屬ノ官吏又ハ吏員ノ中ヨリ選舉長ヲ命スヘシ

選舉長ハ投票、開票其ノ他ノ選舉ニ關スル事務ヲ統轄ス

整理施行者ハ整理施行地區内ニ於テ選舉資格ヲ有スル者ノ中ヨリ二人ノ立會人ヲ選任シ投票及開票ニ立會ハシムヘシ

第十八條 有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス得票数同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

整理委員トシテ當選シタル者同時ニ補闕委員トシテ當選スルモ補闕委員タルコトヲ得ス

土地所有者ヨリ選舉セラレ當選シタル者同時ニ借地權者ヨリ選舉セラレ當選スルモ借地權者ヨリ選舉セラレ當選シタル者ニ非スト看做ス但シ前項ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第十九條 當選人決定シタルトキハ整理施行者ハ其ノ旨當選人ニ通知シ其ノ氏名ヲ告示スヘシ



當選人前項ノ告示アリタル日ヨリ起算シ五日以内ニ不承諾ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ承諾シタルモノト看做ス

三四

第二十條 當該選舉ニ於テ定數ノ整理委員ヲ得サルトキハ其ノ不足ノ員數ニ對シ更ニ選舉ヲ行フ前項ノ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ當該選舉ニ關スル選舉人名簿ニ依リ之ヲ行ヒ選舉スヘキ員數及選舉期日ハ選舉期日ヨリ起算シ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スヘシ

第二十一條 整理委員又ハ補闕委員第八條ノ被選舉要件ヲ缺クニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ失フ

第二十二條 整理委員ニ闕員ヲ生シタルトキハ得票數多キ補闕委員ヨリ順次之ヲ補充ス得票數同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

整理委員ニ闕員ヲ生シ之ヲ補充スヘキ補闕員ナキトキハ整理委員及補闕委員ノ補闕選舉ヲ行フ

第二十三條 整理委員會整理施行者ノ指定スル期間内ニ意見ヲ提出セサルトキハ直ニ特別都市計畫法第五條ノ事項ヲ決定スルコトヲ得

第二十四條 本令ニ定ムルモノノ外整理委員會ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

第二十五條 特別都市計畫法第七條第一項ノ公共ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地トハ特別都市

計畫法第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ因リ新設又ハ擴築シタル道路、廣場、堤塘、溝渠、運河、河川、公園又ハ公共物揚場ノ用ニ供スヘキモノト爲リタル土地ヲ謂フ

第二十六條 前條ノ土地ハ國ニ於テ土地區劃施行ニ要スル費用ヲ負擔スル場合ニ在リテハ國ノ所有地、公共團體ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スル場合（特別都市計畫法第二條ノ規定ニ依リ費用ノ一部ヲ負擔スル場合ヲ除ク）ニ在リテハ其ノ公共團體ノ所有地ニ編入ス

第二十七條 特別都市計畫法第八條第二項ノ公共ノ用ニ供スル土地トハ地目ノ如何ニ拘ラス道路、廣場、堤塘、溝渠、運河、河川、公園又ハ公共物揚場ノ用ニ供セラルル土地ヲ謂フ

第二十八條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ハ整理施行地ニ付第三十三條ノ告示ノ日ニ於テ所有權、地上權、永小作權又ハ賃借權ヲ有スル者及國有財産法第二十四條ノ規定ニ依リ土地ノ貸付ヲ受クル者ニ對シ之ヲ交付ス

前項ニ規定スル者ハ整理施行者ノ指定スル期間内ニ住所、氏名竝權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ具シ整理施行者ニ申告スヘシ

第十條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ申告ニ之ヲ準用ス



登記ナキ權利ニ付第二項ノ期間内ニ申告ヲ爲ササル者ニ對シテハ補償金ヲ交付セス

第二十九條 特別都市計畫法第八條第一項ノ捕償金ハ國又ハ公共團體ニ之ヲ交付セス

第三十條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ノ總額ハ整理施行前ニ於ケル其ノ地區内ノ宅地ノ平均價格ニ同項ノ規定ニ依ル一割ヲ超ユル部分ノ面積ヲ乘シタル額トス但シ前條ノ規定ナシトセハ國又ハ公共團體ニ交付スヘキ額ハ之ヲ控除ス

第三十一條 特別都市計畫法第八條第一項ノ補償金ハ同法第五條ノ規定ニ依リ定メタル配當割合ニ基キ補償審査會之ヲ定ム

第三十二條 公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體カ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ同法第五條ノ規定ニ依ル決定ヲ爲スニ付テハ内務大臣ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ耕地整理法第三條第一項及第三十條第三項ノ規定ニ依ル地方長官ノ認可ヲ要セス

第三十三條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ行政官廳第三十七條若ハ耕地整理法第三十條第一項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ又ハ内務大臣之ニ關シ前條ノ認可ヲ與ヘタルトキハ遲滯ナク之ヲ告示シ且行政官廳處分ヲ爲シタル場合ニ在リテハ既登記ノ土地及建物ニ付登

記ヲ囑託シ、内務大臣認可ヲ與ヘタル場合ニ在リテハ其ノ旨管轄登記所ニ通知スヘシ

第三十四條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於ケル耕地整理法ノ準用ニ付テハ同法第二十九條ノ告示ハ第五條ノ告示、同法第三十條第三項ノ認可ハ第三十二條ノ認可、同法第三十條第四項ノ告示ハ前條ノ告示、同法第四十二條ノ二、第四十七條及第四十八條ノ組合ハ整理施行者タル行政廳又ハ公共團體、同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ整理施行地區トス

第三十五條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テノ耕地整理法ノ準用ニ關シテハ整理施行地ニ付所有權以外ノ權利ヲ有スル者ハ之ヲ關係人ト看做ス

第三十六條 耕地整理法第三十三條ノ規定ハ従前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付未登記ノ所有權以外ノ權利アル土地ニ對スル換地ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス但シ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ付テハ第五條ノ告示、都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付テハ都市計畫法施行令第十七條第一項ノ告示、其ノ他ノ土地區劃整理ニ付テハ整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタ



ル日より起算シ十日以内ニ權利者權利ヲ證スヘキ書類ヲ添附シ整理施行者ニ權利ノ種別及其ノ目的タル土地ノ所在ヲ届出テサル場合ニ於テハ此限ニアラス

第三十七條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ特別ノ事情ノ爲耕地整理法第三十條第一項ノ規定ニ依ルコト能ハサルモノノ處分ニ關シテハ行政廳又ハ公共團體整理委員會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理施行ノ土地ノ地價ニ關シ都市計畫法施行令第二十條ノ規定ニ依ル耕地整理法第十三條ノ規定ノ準用ニ付テハ同條中第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積トアルハ特別都市計畫法第七條第一項ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタル土地ノ面積トス

第三十九條 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ第三十七條又ハ耕地整理法第三十條第一項但書ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金錢ヲ滯納スルトキハ整理施行者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ行政官廳ニ於テ徵收スル場合ニ在リテハ國ノ徵收金

ニ、公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體ニ於テ徵收スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體ノ徵收金ニ次ク

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



○特別都市計畫法施行令第二十四條ノ規定ニ依ル

土地區劃整理委員會ニ關スル件(大正十三年四月二日  
內務省令第十二號)

第一條 土地區劃整理委員會ハ整理委員中ヨリ議長及副議長ヲ選舉スヘシ

前項ノ規定ニ依リ選舉ニ付キテハ出席委員中ノ年長者議長ノ職務ヲ行フ年齢同シキ時ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

特別都市計畫法施行令第十八條第一項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル選舉ニ之ヲ準用ス

第二條 議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議事ヲ整理ス

議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長及副議長共ニ故障アルトキハ出席委員中ノ年長者議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 整理委員會ハ整理施行者之ヲ招集ス

招集ノ通知ハ開會ノ日ヨリ超算シ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

整理委員會ハ整理施行者之ヲ開閉ス

第四條 整理委員會ハ委員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

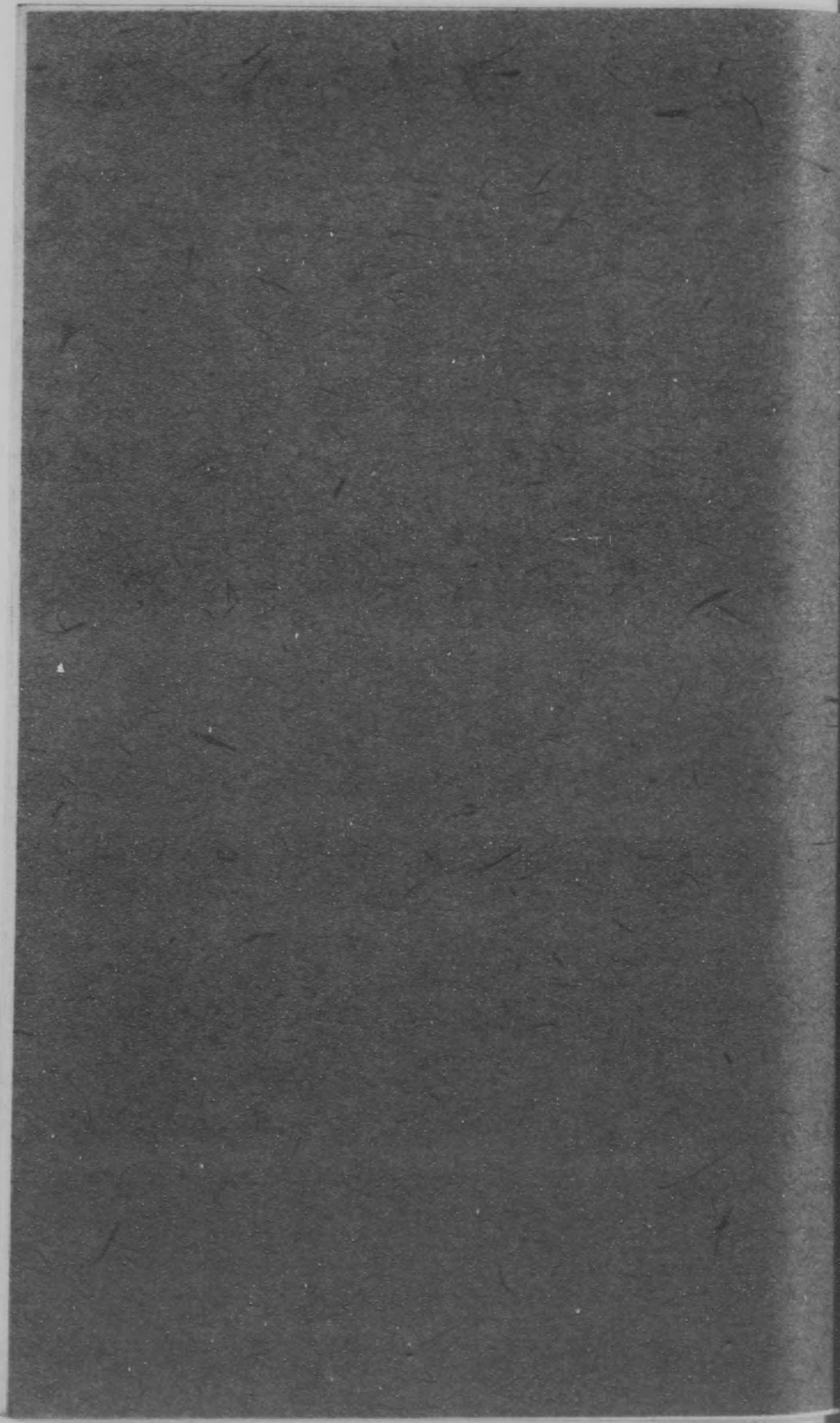
議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五條 關係官吏又ハ吏員ハ整理委員會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス





*[Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*



# ○市街地建築物法

(大正八年四月四日  
法律第三十七號)

第一條 主務大臣ハ本法ヲ適用スル區域内ニ住居地域、商業地域又ハ工業地域ヲ指定スルコトヲ得

第二條 建築物ニシテ住居ノ安寧ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス

第三條 建築物ニシテ商業ノ利便ヲ害スル虞アル用途ニ供スルモノハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス

第四條 工場、倉庫其ノ他之ニ準スヘキ建築物ニシテ規模大ナルモノ又ハ衛生上有害若ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス

主務大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ建築物ニシテ著シク衛生上有害又ハ保安上危険ノ虞アル用途ニ供スルモノニ付テハ工業地域内ニ於テ其ノ建築ニ付特別地區ヲ指定スルコトヲ得

第五條 前三條ニ規定スル建築物ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 前四條ノ規定ノ適用ニ付テハ新ニ建築物ノ用途ヲ定メ又ハ建築物ヲ他ノ用途ニ供スルトキ



ハ其ノ用途ニ供スル建築物ヲ建築スルモノト看做ス

第七條 道路敷地ノ境界線ヲ以テ建築線トス但シ特別ノ事由アルトキハ行政官廳ハ別ニ建築線ヲ指定スルコトヲ得

第八條 建築物ノ敷地ハ建築線ニ接セシムルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 建築物ハ建築線ヨリ突出セシムルコトヲ得ス但シ建築線カ道路幅ノ境界線ヨリ後退シテ指定セラレタルモノナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ建築物ノ前面突出部又ハ基礎ハ道路幅ノ境界線ヲ超エサル範圍内ニ於テ建築線ヨリ之ヲ突出セシムルコトヲ得

第十條 行政官廳ハ市街ノ體裁上必要ト認ムルトキハ建築線ニ面シテ建築スル建築物ノ壁面ノ位置ヲ指定スルコトヲ得

第十一條 建築物ヲ建築スル場合ニ於ケル其ノ高又ハ其ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關シテハ地方ノ狀況、地域及地區ノ種別、土地ノ狀態、建築物ノ構造、前面道路ノ幅員等ヲ參酌シ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十二條 主務大臣ハ建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ衛生上又ハ保安上必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十三條 主務大臣ハ火災豫防上必要ト認ムルトキハ防火地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル防火設備又ハ建築物ノ防火構造ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

防火地區内ニ於テハ建物ノ部分ヲ爲ス防火壁ハ土地ノ疆界線ニ接シ之ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ學校、集會場、劇場、旅館、工場、倉庫、病院、市場、屠場、火葬場其ノ他命令ヲ以テ指定スル特殊建築物ノ位置、構造、設備又ハ敷地ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十五條 主務大臣ハ美觀地區ヲ指定シ其ノ地區内ニ於ケル建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ美觀上必要ナル規程ヲ設クルコトヲ得

第十六條 主務大臣ハ建築物ノ工事執行ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十七條 行政官廳ハ建築物左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ除却、改築、修繕、使用禁止、使用停止其ノ他ノ必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得



- 一 保安上危険ト認ムルトキ
- 二 衛生上有害ト認ムルトキ

三 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ建築物ヲ建築シタルトキ

第十八條 本法適用區域ノ設定若ハ變更、地域若ハ地區ノ指定若ハ變更其ノ他ノ場合ニ於テ從來存在スル建築物カ其ノ後新ニ建築セラレタリトセハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スヘキモノナルトキハ行政官廳ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ建築物ニ付前條ニ掲クル必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築物所在地ノ公共團體ヲシテ損失ヲ補償セシム

前項ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者補償金額ニ付不服アルトキハ其ノ金額決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第十九條 建築主、建築工事請負人、建築工事管理者又ハ建築物ノ所有者若ハ占有者ハ本法若ハ本

法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ二千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十條 前條ノ規定ハ前條ニ掲クル者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前條ニ掲クル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者其ノ營業ニ關シ前條ニ規定スル違反ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

前條ニ掲クル者法人ナルトキハ明治三十三年法律第五十二號ヲ準用ス

第二十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政官廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得



第二十三條 本法適用ノ區域ハ勅令ヲ以テ指定スル市、區其ノ他ノ市街地トス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ其ノ定ムル所ニ依リ前項ノ市街地ノ外ニ互リ本法適用ノ區域ヲ定ムルコトヲ得

第二十四條 本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建築工事中ノ建築物、建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物又ハ建築物ニ非サル工作物ニ之ヲ準用スルコトヲ得

第二十五條 本法ノ全部又ハ一部ノ適用ヲ必要トセル建築物ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 本法ニ於テ道路ト稱スルハ幅員九尺以上ノモノヲ謂フ

道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正九年十一月勅令第五百三十九號ヲ以テ同年十二月一日ヨリ施行）

○市街地建築物法施行令（大正九年九月二十九日）（大正十二年八月勅令第四百三十八號）（第三百九十五號改正）

第一條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ住居地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス

一 常時十五人以上ノ職工ヲ使用スル工場、常時使用スル原動機馬力數ノ合計ニテ超過スル工場又ハ汽罐ヲ使用スル工場但シ行政官廳住居ノ安寧ヲ害スル虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得スト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 五臺以上ノ自動車ヲ常時收容スル車庫

三 劇場、活動寫眞館、寄席又ハ觀物場

四 待合又ハ貸座敷

五 倉庫業ヲ營ム倉庫

六 火葬場

七 屠場

八 塵埃焼却場

市街地建築物法施行令



九 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳住居ノ安寧ヲ害スル虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スルモノ

第二條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ商業地域内ニ之ヲ建築スルコトヲ得ス

一 常時五十人以上ノ職工ヲ使用スル工場又ハ常時使用スル原動機馬力數ノ合計十ヲ超過スル工場但シ日刊新聞印刷所及行政官廳商業ノ利便ヲ害スル虞ナシト認ムルモノ又ハ公益上已ムヲ得スト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 前條第六號乃至第八號ニ該當スルモノ

三 前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳商業ノ利便ヲ害スル虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スルモノ

第三條 建築物左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ工業地域内ニ非サレハ之ヲ建築スルコトヲ得ス

一 常時百人以上ノ職工ヲ使用スル工場又ハ常時使用スル原動機馬力數ノ合計三十ヲ超過スル工場但シ第一條第一號但書又ハ前條第一號但書ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 左ニ掲クル事業ヲ營ム工場但シ行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危険ノ虞ナシト認ムルモノ

ハ此ノ限ニ在ラス

イ 銃砲火藥類取締法ノ火藥類ノ製造

ロ 鹽素酸鹽類、過鹽素酸鹽類、「ピクリン」酸、「ピクリン」酸鹽類、黃磷、赤磷、硫化磷、「カリウム」、「ナトリウム」、「マグネシウム」、過酸化水素、過酸化「カリウム」、過酸化「ナトリウム」、過酸化「バリウム」、硫化炭素、「エーテル」、「コロチウム」、「アルコホール」、木精、「アセトン」、「ベンゾール」、「キシロール」、「トルオール」、「テレピン」油、硝化纖維素、「セルロイド」、石油類其ノ他之ニ類スル引火性又ハ發火性物品ノ製造

ハ 硫黃、沃度、「ブローム」、四鹽化炭素、鹽化硫黃、鹽酸、硫酸、硝酸、磷酸、弗化水素、醋酸、無水醋酸、石炭酸、安息香酸、苛性加里、苛性曹達、「アンモニア」水、炭酸加里、炭酸曹達、「クロール」石灰、次硝酸銻鉛、「チアン」化合物、砒素化合物、「バリウム」化合物、水銀化合物、鉛化合物、銅化合物、亞硫酸鹽類、「フォルマリン」、「クロロホルム」、「イヒチオール」、「ズルフオナール」、「グリセリン」、「アンチフェブリン」、「アスピリン」、「クレオソート」、「グアヤコール」等其ノ製造ニ際シ有臭又ハ有害ノ瓦斯又ハ廢液ヲ生スル物品ノ製造

市街地建築物法施行令



- ニ 水銀ヲ用キル計器ノ製造
- ホ 燐寸ノ製造
- ヘ 金屬ノ熔融又ハ精煉
- ト 乾燥油又ハ溶劑ヲ用キル擬革紙布又ハ防水紙布ノ製造
- チ 肥料ノ製造
- リ 動物質原料ノ化製
- ヌ 製革又ハ毛皮ノ精製
- ル 骨、角又ハ貝殻ノ乾燥研磨
- ナ 製油又ハ製蠟
- ワ 染料、顔料又ハ塗料ノ製造
- カ 煉瓦又ハ坩堝ノ製造
- ヨ 「アスファルト」ノ製造
- タ 「セメント」、石膏、石灰、煨製石灰、炭化石灰又ハ石灰窒素ノ製造

- レ 古綿又ハ襪類ノ精製
- ソ 礦石類、黒鉛、硝子、煉瓦、陶磁器等ノ粉碎
- ツ 石炭瓦斯又ハ壓縮瓦斯ノ製造
- ネ 「コークス」ノ製造
- ナ 石炭「タール」、木「タール」、石油蒸餾産物又ハ其ノ残渣ヲ原料トスル製造
- ラ 石鹼ノ製造
- ム 製紙
- ウ 溶劑ヲ用キル護謨製品ノ製造
- キ 鋼釘又ハ鋼球ノ製造
- ノ 汽罐ノ製造
- オ 金屬ノ壓延又ハ伸線
- ク 炭素製品ノ製造

三 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危險ノ虞アリト認め命令ヲ以  
市街地建築物法施行令



テ指定スル事業ヲ營ム工場

五四

四 第二號イ、ロ、ホ、リ及レノ物品ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ但シ行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危險ノ虞ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

五 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外行政官廳衛生上有害ノ又ハ保安上危險ノ虞アリト認メ命令ヲ以テ指定スル物品ノ貯藏又ハ處理ニ供スルモノ

第三條ノ二 地域又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ニシテ前三條ノ規定ニ依リ現在地ニ建築スルコトヲ得サル種類ニ屬スルモノハ其ノ指定又ハ變更ノ日ヨリ十年間ヲ限り行政官廳ノ許可ヲ受ケ左記各號ニ規定スル制限内ニ於テ増築、改築又ハ用途ノ變更ヲ爲スコトヲ妨ケス

一 地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ敷地ヲ超エテ増築又ハ改築セサルコト  
二 建築物ノ増築又ハ改築ニ因リ増加スヘキ建築面積ハ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ建築面積ノ二分ノ一ヲ超過セサルコト

三 建築物ノ増築又ハ改築ニ因リ増加スヘキ床面積ハ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ノ床面積ヲ超過セサルコト

第二十六條ノ規定ニ依リ建築ノ許可ヲ受ケタル建築物ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ地域又ハ地區ノ指定又ハ變更ノ際現ニ存在スル建築物ト看做ス

第四條 建築物ノ高ハ住居地域内ニ於テハ六十五尺ヲ、住居地域外ニ於テハ百尺ヲ超過スルコトヲ得ス但シ建築物ノ周圍ニ廣濶ナル公園、廣場、道路其ノ他ノ空地アル場合ニ於テ行政官廳交通上、衛生上及保安上支障ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 煉瓦造建築物及石造建築物ハ高六十五尺軒高五十尺ヲ、木造建築物ハ高五十尺軒高三十八尺階數三ヲ、木骨煉瓦造建築物及木骨石造建築物ハ高三十六尺軒高二十六尺ヲ超過スルコトヲ得ス

前項ノ石造ニハ人造石造及「コンクリート」造ヲ、木造ニハ土藏造ヲ包含ス

第一項ノ木骨煉瓦造建築物トハ厚三寸以上ノ煉瓦積ヲ以テ木骨ヲ被覆又ハ填充シテ外壁ヲ構成スルモノヲ謂ヒ木骨石造建築物トハ厚三寸以上ノ石、人造石又ハ「コンクリート」ヲ以テ木骨ヲ被



覆又ハ填充シテ外壁ヲ構成スルモノヲ謂フ

一建築物ニシテ外壁二種以上ノ構造ヨリ成ルモノニ付テハ第一項ノ規定ノ適用ニ關シ制限ノ最嚴ナルモノニ依ル

第一項ノ階數ニハ屋階及地階ヲ包含セス

第六條 前二條ニ規定スル建築物ノ高トハ地盤面ヨリ建築物ノ最高部迄ノ高ヲ謂フ

前條第一項ノ軒高トハ地盤面ヨリ建築物ノ外壁上端迄ノ高、外壁上端ニ扶欄、扶壁又ハ軒蛇腹アルトキハ其ノ最高部迄ノ高、出軒ノ場合ニハ軒桁上端迄ノ高ヲ謂フ但シ切妻ノ部分ハ軒高ニ之ヲ算入セス

前二項ノ地盤面ニ高低アルトキハ行政官廳其ノ地盤面ヲ認定ス

第七條 建築物各部分ノ高ハ其ノ部分ヨリ建築物ノ敷地ノ前面道路ノ對側境界線迄ノ水平距離ノ一倍四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス且其ノ前面道路幅員ノ一倍四分ノ一ニ二十五尺ヲ加ヘタルモノヲ限度トス但シ住居地域外ニ在ル建築物ニ付テハ一倍四分ノ一ヲ一倍二分ノ一トス  
前項ノ高トハ前面道路ノ中央ヨリノ高ヲ謂フ

第八條 建築物ノ敷地カ幅員同シカラサル二以上ノ道路ニ接スル場合ニ於テ一ノ道路ノ境界線迄ノ

水平距離カ其ノ道路幅員ノ一倍二分ノ一以內ニシテ且八十尺以內ノ區域ノ內ニ在ル建築物各部分ノ高ニ付テハ前條ノ規定ノ適用ニ關シ其ノ道路ヲ前面道路ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル前面道路二以上在ル場合ニ於テ其ノ幅員同シカラサルトキハ幅員小ナル前面道路ハ幅員最大ナル前面道路ト同一ノ幅員ヲ有スルモノト看做ス

第一項ノ場合ニ於テ同項ニ規定スル區域ノ外ニ在ル建築物各部分ニ付テハ幅員最大ナル道路ヲ前面道路ト看做ス

第九條 道路境界線カ建築線ト一致セサル場合ニ於テハ道路境界線又ハ道路幅員ニ關スル前二條ノ規定ノ適用ニ關シ建築線ヲ其ノ道路境界線ト看做ス

第十條 建築物ノ敷地左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前三條ノ規定ニ拘ラス行政官廳別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

- 一 公園、廣場、河、海ノ類ニ接スルトキ
- 二 前面道路ノ對側ニ公園、廣場、河、海ノ類アルトキ



三 其ノ地盤面ト前面道路ノ路面トノ高低ノ差著シキトキ

四 高低ノ差著シキニ以上ノ道路ニ接スルトキ

五 道路ノ終端ニ位スルトキ

第十一條 行政官廳ハ命令ヲ以テ特ニ道路ヲ指定シ之ニ面スル建築物ノ高ノ最低限度ヲ定ムルコトヲ得

第十二條 煙突、棟飾、避雷針、旗竿、風見竿等建築物ノ屋上ニ突出スルモノノ高ハ建築物ノ高ニ之ヲ算入セス

裝飾塔、物見塔、屋窓、昇降機塔、水槽等建築物ノ屋上突出部ノ高ハ行政官廳命令ノ定ムル所ニ依リ建築物ノ高ニ之ヲ算入セサルコトヲ得

第十三條 本令中高ニ關スル規定ハ煙突、物見塔、扛重機、水槽、氣槽、無線電信用電柱ノ類及工業用建築物ニシテ行政官廳其ノ用途ニ依リ已ムヲ得スト認メ許可シタルモノニ付之ヲ適用セス  
本令中高ニ關スル規定ハ社寺建築物ニシテ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ付之ヲ適用セス

第十四條 建築物ノ建築面積ハ敷地ノ面積ニ對シ住居地域内ニ於テハ十分ノ六、商業地域

内ニ於テハ十分ノ八、住居地域及商業地域外ニ於テハ十分ノ七ヲ超過スルコトヲ得ス但シ商業地域内ニ於テ行政官廳特ニ指定シタル角地其ノ他ノ地區ニ於ケル建築物ノ第一階及地階ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

主トシテ住居ノ用ニ供スル建築物ハ住居地域外ニ在ルモノト雖前項ノ規定ノ適用ニ關シ住居地域内ニ在ルモノト看做ス

第十五條 前條第一項ノ建築面積トハ建築物ノ水平断面ニ於ケル外壁ノ又ハ之ニ代ルヘキ柱ノ中心線内面積中最大ナルモノヲ謂フ但シ地階ニシテ其ノ外壁ノ高地盤面上六尺以下ノモノノ部分ノ面積ハ之ヲ建築面積ト看做サス

軒、庇、桔出縁ノ類カ前項ノ中心線ヨリ突出スルコト三尺ヲ超ユル場合ニ於テハ其ノ外端ヨリ三尺ヲ後退スル線ヲ以テ前項ノ中心線ト看做ス

前條第一項ノ建築物ノ敷地ノ面積トハ建築物ノ敷地ノ水平断面ノ面積中最大ナルモノヲ謂フ

第十六條 第七條、第八條、第十條、第十四條、前條及第十七條ノ建築物ノ敷地トハ一構ノ建築物ニ屬スル一團ノ土地ヲ謂フ



第十七條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ損失ヲ補償スヘキ場合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限ル

- 一 地域ノ又ハ工業地域内特別地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ使用禁止又ハ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 二 美觀地區ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 三 建築線ノ指定又ハ變更ニ基キ建築物ノ主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
  - 四 建築線ニ面スル建築物ノ壁面ノ位置ノ指定ニ基キ建築物主要構造部ノ變更又ハ除却ヲ命シタル場合
  - 五 建築物ノ高又ハ建築物ノ敷地内ニ存セシムヘキ空地ニ關スル規定ニ基キ建築物主要構造部ノ除却ヲ命シタル場合
- 第十八條 市街地建築物法第十八條第二項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損失ハ通常生スヘキ損失ニ限ル
- 第十九條 前二條ノ規定ニ依ル損失補償ノ請求ハ市街地建築物法第十八條第一項ノ措置ヲ命セラレタル者之ヲ命セラレタル日ヨリ起算シ三月内ニ之ヲ爲スコトヲ得

第二十條 市街地建築物法第十八條第二項ノ公共團體トハ同法第二十三條ノ規定ニ依ル同法適用區域ノ屬スル市區町村トス

第二十一條 補償義務ノ有無及補償ノ金額ハ補償審査會之ヲ裁定ス

第二十二條 補償審査會ハ第二十條ニ規定スル市街地建築物法第十八條第二項ノ公共團體毎ニ之ヲ置ク

補償審査會ハ會長一人及委員十二人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十三條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲クル者ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 關係各廳高等官 四人
- 二 前條第一項ノ公共團體ノ吏員 二人
- 三 前號ノ公共團體ノ議會ノ議員 四人
- 四 學識經驗アル者 二人

前項第一號第二號及第四號ノ委員ハ主務大臣之ヲ命シ第三號ノ委員ハ其ノ議會ニ於テ之ヲ選舉ス

市街地建築物法施行令



第二十四條 補償審査會ニ關シテハ土地收用法第二十七條乃至第三十一條、第三十七條、第三十九條、第四十條第一項、第二項、第四十二條乃至第四十五條、第六十九條、第七十二條及第八十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條第一項ノ公共團體ノ二以上ニ互ル建築物ニ關シテハ關係補償審査會合同シテ會議ヲ開クヘシ

第二十五條 市街地建築物法第十八條ノ規定ハ建築工事中ノ建築物及建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物ニ之ヲ準用ス

第二十六條 行政官廳ハ建築工事中ノ建築物又ハ建築工事ニ著手セサルモ設計アル建築物ニシテ其ノ建築竣成ノ後ニ於テ市街地建築物法第十八條第一項ノ規定ニ依ル措置ヲ命スル必要ナシト認ムルモノニ付テハ其ノ建築ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條 市街地建築物法ハ古社寺保存法又ハ史蹟名勝天然記念物保存法ノ適用又ハ準用ヲ受クル建築物ニ付之ヲ適用セス

第二十八條 鳥居、形像、記念門、記念塔其ノ他ノ建築ニシテ道路ヲ占用シテ施設スルモノニ對シ

テハ市街地建築物法第八條、第九條及第十一條ノ規定ヲ適用セス

第二十九條 博覽會建築物、觀覽場、飾門、飾塔、足代及棧橋ノ類ニシテ假設的ノモノニ對シテハ市街地建築物法第二條乃至第六條、第九條及第十一條ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得

第三十條 市街地建築物法第二十六條第一項ノ道路ノ新設又ハ變更ノ計畫アル場合ニ於テ行政廳其ノ計畫ヲ告示タルトキハ其ノ計畫ノ道路ハ之ヲ道路ト看做ス

附則

本令ハ市街地建築物法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正九年十二月一日ヨリ施行)



○市街地建築物法適用區域(大正九年十一月十七日勅令第五百四十號)

市街地建築法ハ東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ニ之ヲ適用ス  
内務大臣ハ前項ニ掲クル市ノ外ニ互ル區域ニシテ都市計畫區域タルモノノ全部又ハ一部ノ區域ニ市街地建築物法ヲ適用スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ市街地建築物法ヲ適用スル區域ハ内務大臣之ヲ告示ス

附則

本令ハ大正九年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○市街地建築物法ヲ適用スヘキ町村名抄

東京都市計畫區域内左記町村ニ大正十一年八月一日ヨリ適用(大正十一年五月四日内務省告示第百七號)

東京府荏原郡 品川町、大崎町、大井町、目黒村

東京府豊多摩郡 中野町、大久保町、戸塚町、淀橋町、代々幡町、千駄ヶ谷町、澁谷町、落合村

東京府北豊島郡 南千住町、三河島町、日暮里町、瀧野川町、巢鴨町、西巢鴨町、王子町、高田町

東京府南葛飾郡 吾嬬町、龜戸町、大島町、砂町、寺島村、隅田村

東京府南足立郡 千住町(但シ荒川放水路以北ヲ除ク)

東京都市計畫區域内左記町村ニ大正十二年十一月一日ヨリ適用(大正十二年七月二十八日内務省告示第百四十七號)

東京府荏原郡 大森町、入新井町

東京府北豊島郡 板橋町、岩淵町、尾久村、長崎村、志村

東京府南葛飾郡 小松川町、葛西村



### ○東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル假設建築物ニ關スル件

(大正十二年九月十五日(大正十三年二月)勅令第四百十四號(勅令第十九號改正))

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル大正十二年九月ノ震災ニ因リ火災ニ罹リタル地區ニ於テ大正十三年八月末日迄ニ建築ニ著手シ大正十七年八月末日迄ニ除却スル假設建築物ニ付テハ市街地建築物法第二條乃至第十一條及第十三條乃至第十五條ノ規定ヲ適用セス

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル前項ノ地域外ノ地區ニ於テ大正十三年二月末日迄ニ建築ニ著手シ大正十七年八月末日迄ニ除却スル建築物ニシテ救護其ノ他應急的施設ノ爲ニスルモノニ付亦前項ニ同シ

第一項ノ地區ノ範圍、同項ノ假設建築物ノ構造並前項ノ建築物ノ種類及構造ハ内務大臣之ヲ定ム

#### 附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○市街地建築物法適用區域内假設建築物ニ關スル件

(大正十二年九月十七日(大正十二年九月)内務省令第三十三號(内務省令第三十六號改正))

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域ニ於ケル假設建築物等ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 大正十二年九月十六日勅令第四百十四號第一項ノ地區ハ左記ノ區域内ニ於テ火災ニ罹リタル地區トス

- 東京市 日本橋區、麴町區、京橋區、芝區、神田區、下谷區、本郷區、小石川區、淺草區、四谷區、麻布區、赤坂區、本所區、深川區
- 南葛飾郡 吾嬬町、龜戶町、大島町、砂町
- 北豐島郡 三河島町、日暮里町、南千住町
- 豐多摩郡 淀橋町
- 横濱市

第二條 大正十二年九月十六日勅令第四百十四號第二項ノ建築物ハ左記各號ノ一ニ該當スル種類ノ

東京府及神奈川縣ノ市街地建築物法適用區域内ニ於ケル假設建築物ニ關スル件 六七  
同施行規則



モノニ限ル

六八

一 罹災民救護又ハ避難ノ爲メニ建築スル應急的建築物

二 罹災善後ノ爲メニ要スル食糧品衛生材料建築材料運搬用具等ヲ一時貯藏スル爲メノ建築物

第三條 大正十二年九月十六日勅令第四百十四號第一項ノ假設建築物及同第二項ノ建築物ハ階數ニテ超ユルコトヲ得ス

大正十二年九月十六日勅令第四百十四號第一項ノ假設建築物及同第二項ノ建築物ニハ市街地建築物法施行規則第一條乃至第四百十七條ノ規定ヲ適用セス

地方長官ハ大正十二年九月十六日勅令第四百十四號第一項ノ假設建築物及同第二項ノ建築物ノ構造、設備又ハ敷地ニ關シ衛生上又ハ保安上必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

附則

本令中地方長官トアルハ東京府ニ於テハ警視總監トス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



# ○耕地整理法

(明治四十二年四月十三日) (明治四十三年四月法律第四十四號、大正三年三月)  
(法律第三十號) (同第三十二號、同八年四月同第四十五號改正)

## 第一章 總則

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ土地ノ農業上ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ本法ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ行フヲ謂フ

- 一 土地ノ交換、分合、開墾、地目變換其ノ他區劃形質ノ變更、湖海ノ埋立、干拓若ハ道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更廢置又ハ之ニ伴フ灌溉排水ニ關スル設備若ハ工事
- 二 前號ノ事項施行ノ爲若ハ施行ノ結果必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ設備又ハ其ノ維持管理
- 三 開墾又ハ湖海ノ埋立若ハ干拓ニ依ル耕地整理ニ附隨シテ行フ整理施行地ノ利用ニ關スル必要ナル工作物ノ設置其ノ他ノ施設
- 四 前三號ノ事項ニ關シ必要アルトキ國、府縣、郡、市町村其ノ他公共團體ノ認許ヲ得テ行フ營造物ノ修繕

第二條 本法ニ於テ關係人ト稱スルハ整理施行地ニ付所有權以外ノ登記シタル權利ヲ有スル者ヲ謂



第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條 耕地整理ヲ施行セムトスルトキハ設計書ヲ作り關係人ノ同意書竝第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意書ヲ添ヘ數人共同シテ施行セムトスルモノニ在リテハ尙規約ヲ作

リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ヲ變更シ若ハ一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲シ又ハ事業ヲ停止若ハ廢止セムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ耕地整理施行ノ爲爲シタル借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ事業ヲ廢止シ、整理施行地區ヲ減少シ又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更スルコトヲ得ス

前項整理施行地區ノ變更ニ依リ新ニ整理施行地區ニ編入セラルヘキ土地ニ付テハ第一項ノ同意書ニ關スル規定ヲ準用ス

地方長官第一項又ハ第二項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前五項ノ規定ハ耕地整理組合ニ之ヲ適用セス

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ整理施



行地ノ所有者、占有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

七二

第五條 整理施行地ノ所有者ニ屬スル耕地整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有權ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ帝室及國ヲ除クノ外土地ノ所有者又ハ賃貸人ニ移轉ス

第六條 本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外土地ノ所有者、占有者、關係人其ノ他整理施行地ニ付權利ヲ有スル者ハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第七條 主務大臣、地方長官又ハ郡長耕地整理ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ他人ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲シ障害ノ竹木土石等ヲ移轉若ハ除却セシムルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ土地ノ占有者ニ之ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ公告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 前條ノ規定ハ耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者カ整理施行ノ爲必要ナル準備ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ市町村長ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 耕地整理施行若ハ耕地整理組合設立ノ認可ヲ申請セムトスル者又ハ整理施行者ハ整理施行地ヲ管轄スル登記所、漁業ニ關スル登録官廳、土地臺帳所管廳、市役所又ハ町村役場ニ就キ無償ニテ耕地整理ニ關シ必要ナル簿書ノ閱覽又ハ謄寫ヲ求ムルコトヲ得但シ登記所、漁業ニ關スル登録官廳又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合若ハ耕地整理組合聯合會ノ組合長、組合副長、若ハ聯合會會長、聯合會副會長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第十條 耕地整理施行ノ爲土地又ハ建物ニ付登記又ハ登録ヲ爲ストキハ登録稅ヲ免除ス

前項ノ規定ハ耕地整理ノ施行ニ伴ヒ大字若ハ字ノ名稱又ハ其ノ區域ニ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス



第十一條 耕地整理ヲ施行スル爲國有ニ屬スル道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ全部又ハ一部ヲ廢止シタルニ依リ不用ヲ歸シタル土地ハ無償ニテ之ヲ整理施行地ノ所有者ニ交付ス  
耕地整理ノ施行ニ依リ開設シタル道路、堤塘、溝渠、溜池等ニシテ前項廢止シタルモノニ代ルヘキモノハ無償ニテ之ヲ國有地ニ編入ス

第十二條 本法ニ依ル開墾、地目變換其ノ他土地ノ區劃形質ノ變更又ハ道路、堤塘、溝渠、溜池等ノ變更廢置ニ關シテハ地租條例第十條、第十一條及第十六條乃至第十九條ノ規定ヲ適用セス埋立地又ハ干拓地ニ付亦同シ

第十三條 耕地整理ヲ施行シタル土地ノ地價ハ整理施行地區内土地ノ現地價ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シテ之ヲ定ム但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ整理施行地ノ現地價ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ現地價ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス  
前項ノ場合ニ於テ地租ノ稅率同一ナラサル土地アルトキハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ合計額ヲ每筆相當ニ配賦シ當該地目ノ稅率ヲ以テ除シタル金額ヲ其ノ配賦地價トス但シ第十一條第二項

ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス

前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地、埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

整理施行地ノ地租ハ其ノ整理施行地區ノ全部ニ付土地臺帳ノ整理ヲ完了スル迄從前ノ地域、地目及地價ニ依リ之ヲ徵收ス

規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區ヲ以テ第一項、第二項及第四項ノ整理施行地區ト看做ス

第十四條 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原地總價額トノ差額ノ平均額ノ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乗シタル額ヲ原地價總額ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス



前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ四十年、變換シタル土地ニ付テハ  
 工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價据置年期ヲ許可シ年期明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租  
 ヲ徴收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完  
 了迄又ハ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一  
 項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ前條第一  
 項ノ現地價トス

第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ現地價ニ依リ  
 算出シタル地租額ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條ノ二 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類  
 地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立テ若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓  
 地ニ付テハ六十年、其ノ他ノ土地ニ付テハ二十年ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可ス但シ年期明ニ

至リ地味成熟セサルトキハ更ニ十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ年期明ニ至リ其ノ地價ヲ設定シ其ノ年ヨリ地租ヲ徴收ス

第十五條 整理施行地區内ノ土地中開墾著手後二十年ヲ經過セサルモノ又ハ地租ノ免除若ハ輕減ニ

關スル各種ノ年期ヲ有スルモノアルトキハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依ル

一 開墾ヲ爲シタル土地又ハ墾下年期、新開免租年期、地價据置年期ヲ有スル土地ハ工業著手ノ  
 際地價ヲ修正シ又ハ設定ス但シ工事完了ノ時ニ於テ地價ノ修正又ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類  
 地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項  
 ノ規定ヲ準用ス

二 荒地免租年期又ハ低價年期ヲ有スル土地ハ工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正  
 ス

三 第一號ニ依リ地價ヲ修正シ又ハ設定シタル土地ニ付テハ開墾著手後二十一年目又ハ年期明ニ  
 至リ修正地價又ハ設定地價ニ依リ地租ヲ徴收ス但シ工事完了シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四 工事完了シタルトキハ第一號若ハ第二號ニ記載シタル土地ニ付テハ修正地價又ハ設定地價ヲ



以テ第十三條第一項ノ現地價トス

七八

第十六條 工事完了シタルトキニ於テ開墾著手後二十年ヲ經過セサル土地若ハ前條ニ記載スル年期ヲ有スルモノニシテ年期ノ終了セサル土地又ハ第十四條ニ依リ年期ヲ許可シタル土地アルトキハ事業關係者ハ其ノ協議ヲ以テ修正地租ト從前ノ地租トノ差額ノ利益若ハ負擔又ハ地租ノ免除ヲ受クヘキ土地及金額ヲ定メ政府ニ申告シ殘年期間又ハ第十四條ニ依ル年期中ハ其ノ金額ヲ加除シテ其ノ土地ノ地租ヲ納ムヘシ但シ協議一致セサルトキハ政府ニ於テ之ヲ定ム

第十七條 換地ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ之ヲ從前ノ土地ト看做ス

前項ノ規定ハ行政上又ハ裁判上ノ處分ニシテ從前ノ土地ニ專屬スルモノニ影響ヲ及ホサス

第十八條 賃借地ニ付耕地整理施行ノ爲賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ借借人ハ整理施行者ニ對シ解除ニ依リ生シタル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得但シ整理施行者ハ規約ノ定ムル所ニ依リ賃借人ニ對シ求償スルコトヲ得

第十九條 耕地整理施行ノ爲賃借地ノ利用ヲ妨ケラルルトキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ減額又ハ前拂シタル借賃ノ相當ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第二十條 耕地整理施行ノ爲著シク賃借地ノ利用ヲ増シタルトキハ賃借人ハ借賃ノ相當ノ増額ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲シ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得

第二十一條 耕地整理施行ノ爲地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ地上權者、永小作權者又ハ地役權者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 整理施行地ノ上ニ存スル地役權ハ耕地整理施行ノ後仍從前ノ土地ノ上ニ存ス

耕地整理施行ノ爲地役權者カ其ノ權利ヲ行使スル利益ヲ受クルコトヲ要セサルニ至リタルトキハ其ノ地役權ハ消滅ス

耕地整理施行ノ爲從前ト同一ノ利益ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル地役權者ハ其ノ利益ヲ保存スル範圍内ニ於テ地役權ノ設定ヲ請求スルコトヲ得



第二十三條 第十九條及二十條ノ規定ハ地上權、永小作權又ハ地役權ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前六條ノ規定ニ依ル賃貸借ノ解除、地上權若ハ永小作權ノ拋棄、地役權ノ拋棄若ハ設定又ハ借貸、地代、小作料若ハ地役ノ對價ノ減額、拂戻若ハ増額ノ請求ハ第三十條第四項ノ告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第二十五條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニシテ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條、第二十八條、第三十條第一項、第二項又ハ第四十四條第二項ノ規定ニ依リ拂渡スヘキ金銭アルトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ關係人ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地又ハ之ニ存スル建物カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

先取特權者、質權者、抵當權者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金銭ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十五條ノ二 整理施行地ニ付存スル漁業權カ登録シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ補償金ヲ拂渡スヘキトキハ整理施行者ハ其ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ整理施行地ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

登録シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依リ供託シタル金銭ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第二十六條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者カ其ノ事業ノ爲借入レタル金額及其ノ利息其ノ他耕地整理ノ施行ニ依リ生シタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其ノ責ニ任ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

帝室及國ハ前項ノ責ニ任セス

第二十七條 整理施行者ハ耕地整理施行ノ爲必要アルトキハ整理施行地區内ノ工作物又ハ木石等ヲ



移轉シ、除却シ又ハ破毀スルコトヲ得但シ之ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ補償スヘシ

第二十七條ノ二 整理施行地ニ付漁業權存スル場合ニ於テハ漁業權者ニ對シ、漁業權及入漁權存スル場合ニ於テハ漁業權者及入漁權者ニ對シ整理施行者ハ整理施行ニ依リ生スヘキ損害ヲ補償スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ漁業權者及入漁權者共同シテ之ヲ有スルモノトス  
整理施行者ハ前二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ工事ニ著手スルコトヲ得ス但シ其ノ損害ノ補償ヲ受クル權利者ノ同意ヲ得タルトキ、第二十五條ノ二ノ規定ニ依リ供託ヲ爲シタルトキ又ハ第八十七條第三項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ比ノ限ニ在ラス

第二十八條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合員ハ耕地整理施行ノ爲受ケタル損害ニ對シ第七條、第八條又ハ第二十七條ノ場合ヲ除クノ外補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 整理施行地ニ付權利ヲ有スル者耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可又ハ耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示アリタル後ニ於テ監督官廳ノ許可ヲ得スシテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタルトキハ之ニ關スル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス  
前項告示ノ後ニ於テ土地ニ付權利ヲ取得シタル者ハ従前ノ權利者ノ爲シ得ヘキ範圍内ニ於テノミ損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得

第三十條 換地ハ従前ノ土地ノ地目、面積、等位等ヲ標準トシテ之ヲ交付スヘシ但シ地目、面積、等位等ヲ以テ相殺ヲ爲スコト能ハサル部分ニ關シテハ金錢ヲ以テ之ヲ清算スヘシ  
特別ノ事情ノ爲前項ノ規定ニ依ルコト能サルモノノ處分ニ關シテハ規約ノ定ムル所ニ依ル  
前二項ノ規定ニ依ル處分ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ  
第三十一條 前條ノ規定ニ依ル處分ハ整理施行地ノ全部ニ付工事完了シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 整理施行地二以上ノ市町村、大字又ハ字ニ涉ル場合ニ於テ一筆ノ土地ノ區域ハ二以上ノ



市町村、大字又ハ字ニ涉リテ之ヲ定ムルコトヲ得ス

八四

第三十三條 従前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第三十四條 本法中土地ノ所有者ノ數ヲ計算セル場合ニ於テハ共有者ハ之ヲ一人ト看做ス但シ共有者ノミ共同シテ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テ第五十條、第五十五條第二項、第五十六條第二項、第六十五條第二項又ハ第六十八條第二項中土地ノ面積又ハ地價ハ共有者ノ持分ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ耕地整理ニ關スル書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ整理施行者又ハ監督官廳カ公告ヲ爲ストキハ其ノ公告ノ日ヲ以テ書類ヲ發送シタルモノト看做シ二十日ヲ經過スルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付ヲ了リタルモノト看做ス

第三十六條 第三十條第三項ノ認可ヲ受ケタルトキハ整理施行者ハ遲滯ナク既登記ノ土地及建物ニ

付登記ヲ申請スヘシ

第三十七條 整理施行地區内ノ土地及其ノ上ニ存スル建物ノ登記ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十八條 共同施行又ハ耕地整理組合ニ依ル耕地整理ノ事業ニシテ郡、市町村又ハ水利組合ニ依リ施行スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ヲ郡、市町村若ハ水利組合ニ引繼キ又ハ耕地整理組合ヲ普通水利組合ニ變更スヘシ  
前項ノ規定ニヨリ引續キ又ハ變更アリタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三十九條 監督官廳ハ主務大臣ノ定ムル所ニ從ヒ本法ノ規定ニ依ル職權ノ一部ヲ下級監督官廳ニ委任スルコトヲ得

第四十條 本法中府縣、郡、市町村、郡長、市町村長、市役所又ハ町村役場トアルハ府縣制、郡制、市制、町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第四十條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本法中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ關



係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 耕地整理組合

第一款 總則

第四十一條 耕地整理ヲ施行スル爲必要アルトキハ耕地整理組合ヲ設立スルコトヲ得

耕地整理組合ハ法人トス

第四十二條 耕地整理組合ハ整理施行地ヲ以テ其ノ地區トス

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者ニ代  
リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 左ニ掲クル土地ハ之ヲ耕地整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ第一號乃至第三  
號ノ土地ニ付テハ主務官廳又ハ公共團體ノ認許、第四號乃至第八號ノ土地ニ付テハ土地所有者、  
關係人及建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 御料地、國有地
- 二 官ノ用ニ供スル土地

三 府縣、郡、市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ノ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

四 名勝地、舊蹟地

五 古墳墓地、墳墓地

六 社寺境内地

七 鐵道用地、軌道用地

八 建物アル宅地

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認可ヲ得タルトキハ  
其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得但シ地上  
權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナルモノニ付テハ  
此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合員ト  
爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 特別ノ價值又ハ用途アル土地ハ土地所有者及關係人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ耕地



整理組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得ス但シ之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地收用法第四十七條乃至第四十九條、第五十一條乃至第五十四條、第五十六條、第五十八條、第六十條及第六十一條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ組合ノ設立又ハ地區變更ノ認可ノ告示ヲ以テ土地收用法第十九條ノ規定ニ依ル公告又ハ通知ト看做ス

第一項但書ノ場合ニ於テ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ其ノ土地ニ付工事ノ施行ヲ拒ムコトヲ得但シ第八十七條第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ得タル金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ其ノ地區内ニ土地ヲ所有スル者ハ總テ之ヲ組合員トス但シ第十一條第一項ノ土地ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 耕地整理組合ノ名稱中ニハ耕地整理組合ナル文字ヲ用ウヘシ

耕地整理組合ニ非サルモノハ耕地整理組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第四十七條 土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト

爲シ之ヲ組合ヲ通知スヘシ

前項ノ代表者ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十八條 前條ノ委任ノ終了ハ組合ニ通知アル迄之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四十九條 第四十七條第一項ノ手續ヲ爲ササル土地共有者ニ對スル書類ノ送付ハ其ノ一人ニ對シ之ヲ發送シタル時ニ於テ完了シタルモノト看做ス

### 第二款 組合ノ設立及解散

第五十條 耕地整理組合ヲ設立セムトスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ノ土地所有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ分ノ一以上ニシテ其ノ區域内ノ土地ノ總面積及總地價ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ土地所有者中共有者アル場合ニ於テハ各共有地ニ付各共有者總數ノ二分ノ一以上ニシテ其ノ持分ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ共有地ニ付同意アリタルモノト看做ス

第五十一條 耕地整理組合ハ前條地方長官ノ認可ニ依リ成立ス

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ組合設立ノ旨ヲ告示スヘシ



組合ハ前項ノ告示アル迄内ノ成立ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十二條 組合設立ニ關スル費用ハ組合設立ノ後組合ノ負擔トス

第五十三條 組合ハ左ノ事由ニ依リ解散ス但シ第二號ノ場合ニ於テ還了セサル組合債アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 規約ニ定メタル事由ノ發生
- 二 目的タル事項ノ完成又ハ完成ノ不能
- 三 總會ノ議決
- 四 合併
- 五 事業ヲ郡、市町村又ハ水利組合ニ引繼キタルトキ
- 六 普通水利組合ニ變更シタルトキ
- 七 組合員一人ト爲リタルトキ
- 八 監督官廳ノ處分

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ第三號又ハ第四號ニ該當スルトキヲ除クノ外其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十四條 組合ニ於テ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ヲ爲サムトスルトキハ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ組合債ヲ負擔スルトキハ債權者ノ同意ヲ得ルニ非サレハ組合ノ解散、合併、地區ノ減少又債務分擔ニ關スル規約ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

地方長官前項ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第五十五條 組合ノ地區ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合ノ地區ニ編入セラルヘキ土地アルトキハ組合長ハ設計書案及規約案ヲ作り編入區域ノ土地所有者ノ總會議ニ付シ其ノ議決ヲ前條ノ總會ノ議決ニ添附スヘシ

前項ノ總會議ノ議決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ土地所有者ノ代理人ヲ許スコトヲ得

第六十六條ノ規定ハ第一項ノ總會議ニ之ヲ準用ス

第五十六條 前條ノ總會議ハ編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十條ノ規定ハ前項ノ同意ニ之ヲ準用ス



第五十七條 設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ハ第五十三條

第二項又ハ第五十四條第二項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十八條 組合ヲ合併シタルトキハ合併ニ依リ解散シタル組合ニ屬スル權利義務ハ合併後存續シ

又ハ合併ニ依リ設立シタル組合ニ移轉ス

第五十九條 組合員一人ト爲リタル爲組合解散ノ場合ニ於テハ其ノ事業ハ一切ノ權利義務ト共ニ土

地所有者ニ移轉ス

前項ノ土地所有者ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ト看做ス

第六十條 組合解散シタルトキハ第五十三條第一項第四號、第六號又ハ第七號ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ

組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第三款 組合ノ會議

第六十一條 別ニ規定アルモノノ外ニ左ニ掲クル事項ハ總會ノ表決ヲ經ヘシ

一 第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲ス事

二 組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更スル事

三 經費ノ收支豫算ヲ定ムル事

四 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事

五 組合長、組合副長、若ハ評議員ヲ選任シ又ハ解任スル事

六 組合費、夫役現品ノ分賦收入ニ關スル事

七 事業報告書及收支決算書ヲ承認スル事

八 工作物又ハ設備ノ維持管理方法ヲ定ムル事

九 訴願、訴訟及和解ニ關スル事

十 耕地整理組合聯合會ヲ設ケ、聯合會ニ加入シ又ハ聯合會ヲ脫退スル事

十一 規約ニ定メタル事項

十二 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第六十二條 總會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ評議員會ニ委任シ又ハ組合長ヲシテ專決セシムルコトヲ得



評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 總會ノ表決ヲ經ヘキ事件ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキハ組合長ハ專決處分シ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ但シ設計書、規約若ハ組合地區ノ變更又ハ組合ノ解散若ハ合併ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

組合長前項ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ其ノ處分前評議員會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但シ評議員ヲ置カサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十五條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員總數ノ五分ノ一以上ニ當ル者又ハ組合地區内ノ土地ノ總面積若ハ總地價ノ五分ノ一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルトキハ組合長ハ十四日以内ニ之ヲ招集スヘシ

第六十六條 總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ五日前ニ會議ノ日時、場所及目的ヲ記載シテ各組合員ニ通知ヲ發スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ期間ヲ二日迄短縮スルコトヲ得

第六十七條 組合員ハ各一箇ノ表決權ヲ有ス但シ規約ヲ以テ表決權總數ノ五分ノ一ヲ超過セサル範圍内ニ於テ一人ニ付二箇以上ノ表決權ヲ有セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第六十八條第二項ノ場合ニ之ヲ適用セス

第六十八條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ表決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十四條又ハ第六十一條第一號、第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ命令ハ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ表決權ヲ行フ者ハ出席者ト看做ス

第七十條 第三十一條但書ノ規定ニ依リ第三十條ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ處分ヲ爲サムトスル土地ニ關スル組合員ノ總會議ヲ以テ總會ト看做ス

第七十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル組合會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得



第七十二條 總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外前二條ノ規定ニ依ル組合員ノ總會議又ハ組合會ニ之ヲ準用ス但シ組合會ニ於テハ組合ノ解散又ハ合併ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第四款 組合ノ管理

第七十三條 組合ニ組合長一人及組合副長一人又ハ數人ヲ置ク

組合長又ハ組合副長ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ特別ノ事情アルトキハ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

組合長、組合副長共ニ闕員ト爲リタルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得

地方長官前二項ノ規定ニ依リ認可ヲ與ヘ又ハ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

組合長、組合副長又ハ臨時代理者ノ就任若ハ解任ハ前項ノ告示アル迄之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十四條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アルトキハ其ノ代理ノ順序ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第七十五條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七十六條 組合ニ評議員ヲ置ク但シ特別ノ事情アル爲地方長官ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

評議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

評議員ハ組合長ノ諮詢ニ應シ竝業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

組合長ハ規約ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲシテ組合ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第七十七條 組合長ハ設計書、規約、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第五款 組合ノ財務

第七十八條 組合ノ費用ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス



夫役現品ノ分賦及之ニ代ルヘキ金額ニ關スル規定ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七十九條 組合員ニシテ組合費、第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金額又ハ延滞利息若ハ過怠金ヲ滞納スルトキハ市町村ハ組合長ノ請求ニ依リ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ其ノ徵收金額中百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

第一項ノ徵收金ハ組合地區内ノ土地ニ關シ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有ス

前三項ノ規定ハ組合員カ夫役現品ニ代ルヘキ金額ヲ滞納スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 組合ニ於テ負債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ負債ハ起債ノ時ヨリ十五年以内ニ之ヲ還了スヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限り五十年以内ト爲スコトヲ得

第八十一條 組合ニシテ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ帝室及國ヲ除クノ外組合員ハ之ニ付連帶無限ノ責任ヲ負擔ス但シ規約ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

## 第二章ノ二 耕地整理組合聯合會

第八十一條ノ二 耕地整理組合ハ登記手續ニ關スル事項ヲ除クノ外其ノ事業ノ一部ヲ他ノ耕地整理組合ト共同シテ行ハムトスル場合ニ於テ之ヲ代リ行ハシムル爲メ協議ニ依リ設計書及規約ヲ作り地方長官ノ認可ヲ得テ耕地整理組合聯合會ヲ設クルコトヲ得

聯合會ハ法人トス

聯合會其ノ所屬組合ノ増減ヲ爲サムトスル時ハ各組合ノ協議ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ  
聯合會ニ會長一人及副會長一人又ハ數人ヲ置ク

第四十二條ノ二、第四十六條、第五十一條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條第一項、第六十條、第七十三條乃至第七十五條及第七十七條乃至第八十一條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第五十九條第一項中土地所有者トアルハ組合、第七十三條中組合員トアルハ聯合會所屬組合ノ組合員トス

## 第三章 監督

第八十二條 耕地整理ハ第一次ニ郡長、第二次ニ地方長官、第三次ニ主務大臣之ヲ監督ス但シ整理

耕地整理法



施行ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市内ニ止ル場合ニ於テハ第一次ニ地方長官、第二次ニ主務大臣之ヲ監督ス

第八十三條 主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行爲カ設計書、規約又ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ、組合長、組合副長若ハ聯合會會長、聯合會副會長ヲ解任シ、評議員若ハ組合會議員ノ改選、事業ノ停止若ハ組合、組合聯合會ノ解散ヲ命シ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第八十四條 監督官廳ハ整理施行者ヲシテ耕地整理事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類、帳簿、出納又ハ工事ヲ檢査シ、設計書又ハ規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 監督官廳ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可申請ニ對シ申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ認可ヲ與フルコトヲ得

第八十六條 第三條ノ規定ニ依ル耕地整理ノ施行若ハ整理施行地區ノ變更ニ異議アル關係人、第四十三條若ハ第四十四條ノ規定ニ違反シテ耕地整理組合ノ地區ニ編入シタル土地ノ所有者若ハ關係

人又ハ第三條第二項但書若ハ第五十四條第一項但書ノ規定ニ依リ異議アル債權者ハ各耕地整理施行ノ認可若ハ整理施行地區變更ノ認可ノ告示、耕地整理組合ノ設立若ハ組合地區變更ノ認可ノ告示又ハ第三條第四項若ハ第五十四條第二項ノ規定ニ依リ當該事項ノ告示アリタル日ヨリ六十日以内ニ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得  
前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ裁決アル迄目的タル土地ニ付耕地整理ノ施行ヲ停止スルコトヲ得

第八十七條 第四十四條第二項ノ規定ニ依ル補償金ニ付協議調ハサルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十七條ノ二第一項ノ規定ニ依ル補償金ニ付亦前二項ニ同シ

第八十八條 總會議、總會若ハ組合會ノ招集手續若ハ表決カ違法ナル場合ニ於テ之ニ對シ不服アル者又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者ハ其ノ表決ノ日ヨリ十四日以



内ニ地方長官ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

前項異議ノ申立アリタル場合ニ於テ監督官廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ利害關係人ノ講求ニ依リ必要ト認ムルトキハ表決又ハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第八十九條 監督官廳ノ處分ニシテ本法中他ノ條項ニ於テ地方長官ノ告示ヲ必要トスル事項ニ相當スルモノニ付テハ地方長官ハ之ヲ告示スヘシ

整理施行者ハ前項ノ告示アル迄其ノ受ケタル處分ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ監督官廳ノ命令シタル停止處分ノ解除ニ之ヲ準用ス

#### 第四章 罰則

第九十條 耕地整理施行ニ關シ設ケタル標識ヲ移轉、汚損、毀壞又ハ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ組合長、組合副長若ハ聯合會會長、聯合會副會長  
本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス  
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第九十一條ノ二 組合長、組合副長、聯合會會長、聯合會副會長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス  
前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

#### 附則

第九十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治四十二年勅令第二百三十號ヲ以テ同年十月十六日ヨリ施行）

明治三十年法律第三十九號ハ之ヲ廢止ス但シ現ニ土地ノ區劃形狀變更ノ許可ヲ得タル者ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第九十三條 北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得



第九十四條 本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ付テハ以下數條ニ規定スルモノヲ除クノ外舊法ノ規定ヲ適用ス

第九十五條 本法第一條、第二條、第四條、第八條、第十條、第十七條、第二十五條、第二十七條、第二十八條、第三十條、第三十一條、第三十三條、第三十五條乃至第四十條、第七十九條、第八十二條、第八十四條及第八十五條ノ規定ハ本法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タル者ニ之ヲ適用ス

第九十六條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ得タル者ハ發起人又ハ整理委員ノ申請ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法ニ依ル耕地整理組合ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ耕地整理組合ト爲シタル時ハ耕地整理ニ關スル從前ノ設計書又ハ規約ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ反セサル範圍内ニ於テ本法ノ規定ニ依ル設計書又ハ規約ト看做ス

第一項ノ規定ニ依ル耕地整理組合ハ耕地整理ニ關スル參加土地所有者共同ノ權利義務ヲ承繼ス

第九十七條 本法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ本法第五十條ノ規定ニ依ル耕地整理組合設立ノ申請ト爲スコトヲ得

附 則(大正八年法律第四十五號)

第九十八條 舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ニ依リ爲シタル處分ニ對スル訴願ニ關シテハ各舊法又ハ明治三十年法律第三十九號ノ規定ニ依ル

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正八年五月勅令第二百四十五號ヲ以テ大正八年六月一日ヨリ施行)

依ル



# ○耕地整理法施行規則

明治四十二年十月十三日（明治四十三年四月農商  
農商務省令第三十九號）務省令第五號、大正元

年八月同第二號、同年十一月同第二十二號、同四  
年五月同第八號、同八年五月同第二十一號改正

一〇六

## 第一章 總 則

第一條 整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ非サレハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ト爲ルコトヲ得ス但シ耕地整理組合設立ノ認可申請者ニ付テハ地方ノ狀況ニ依リ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條 耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ整理施行地區所在ノ市町村ニ事務所ヲ設クヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ之ヲ其ノ隣接市町村ニ設クルコトヲ得事務所ニハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ備ヘ置クヘシ  
共同施行者若ハ組合員タルヘキ者又ハ利害關係人ヨリ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求メタルトキハ正當ノ事山アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ其ノ氏名若ハ名稱、住所、整理施行地

區及事務所ヲ整理施行地區ノ屬スル各市町村長ニ届出ツヘシ

第四條 耕地整理法第七條又ハ第八條ノ規定ニ依ル通知又ハ公告ニハ立入ノ目的、場所及期日ヲ示スヘシ

前項ノ公告ハ立入ルヘキ土地ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ少クモ三日間之ヲ揭示スヘシ

第五條 整理施行地ノ地價ヲ計算スル場合ニ於テ耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ非スシテ地租ヲ課セサル土地、耕地整理法第十五條第一號、第二號ノ土地及一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立ノ認可申請者又ハ整理施行者ハ其ノ現況ニ依リ整理施行地區内ノ土地ノ地價ヲ參酌シテ相當ノ假地價ヲ附スヘシ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面ニ付亦同シ

第六條 耕地整理事業カ府縣、郡、市町村其ノ他ノ公共團體ノ事業ニ關スルトキハ耕地整理施行者又ハ耕地整理組合設立ノ認可申請書ニ其ノ團體ノ承認ヲ證スル書面、其ノ承認ヲ得サル時ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ



前項ノ規定ハ設計書、規約又ハ整理施行地區變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 國有地又ハ府縣ノ公用若ハ公共ノ用ニ供スル土地ヲ整理施行地區ニ編入スル爲耕地整理法又ハ本則ノ規定ニ依リ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ耕地整理施行、耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可申請ト共ニ之ヲ爲スコトヲ得

第八條 設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ但シ規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ第五號、第六號、第九號及第十號ノ事項ハ各區毎ニ之ヲ記載スヘシ

- 一 整理施行地ノ現況及工事施行ノ目的
- 二 工事其ノ他ノ事業ノ計畫説明
- 三 (削除)
- 四 主要工事ノ仕様
- 五 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
- 六 工事施行ニ依リテ得ヘキ利益
- 七 整理施行地及之ニ隣接スル土地、水面ノ現形圖

#### 八 整理豫定圖

- 九 工事ノ著手及完了ノ豫定時期
  - 十 維持管理ニ要スルモノヲ除ク外工事費其ノ他一切ノ費用及夫役現品ノ豫算
- 第九條 規約ニハ耕地整理法又ハ本則ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

#### 一 事業ノ範圍

#### 二 (削除)

- 三 耕地整理組合又ハ聯合會ニ在リテハ名稱
- 四 事務所ノ所在地
- 五 耕地整理組合ニ在リテハ組合長、組合副長及評議員、聯合會ニ在リテハ會長及副會長ノ定數、選任、解任及任期ニ關スル規定、共同施行ニ依ル耕地整理ニシテ役員ヲ置クモノニ在リテハ其ノ名稱、定數、職務權限、選任、解任及任期ニ關スル規定
- 六 會議ニ關スル規定
- 七 處務及會計ニ關スル規定



- 八 補償金評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
  - 九 費用及夫役現品ノ分賦收入方法並延滞利息又ハ過怠金ニ關スル規定
  - 十 耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於ケル土地使用ニ關スル規定
  - 十一 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分方法
  - 十二 土地及水面ノ價額評定ノ標準ヲ定メタルトキハ其ノ規定
  - 十三 數人共同シテ施行スル耕地整理ニ在リテハ設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止若ハ廢止ニ關スル規定
  - 十四 豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利消滅ノ場合ニ於ケル補償金徵收ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ規定
  - 十五 維持管理ヲ行フモノニ在リテハ其ノ規定
- 第十條 耕地整理施行又ハ耕地整理組合設立ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ工事ニ著手スル前第八條第七號ノ圖面ヲ添附シテ左ノ事項ヲ所轄稅務署長ニ申告スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

- 一 整理施行地ノ屬スル郡、市町村並土地ノ字、番號及水面ノ位置、面積
  - 二 耕地整理施行者ハ耕地整理組合設立又ハ整理施行地區變更ノ認可ノ年月日
  - 三 工事施行後ニ於ケル土地ノ筆數及面積ノ地目別合計ノ豫定
  - 四 耕地整理法第十五條第一號、第二號ノ土地アルトキハ本則第五條ニ依リ定メタル假地價
  - 五 工事ノ著手及完了ノ豫定時期
- 第十條ノ二 整理施行地區内ニ一筆ノ一部ヲ編入シタル土地アルトキハ前條ノ申告ト共ニ分筆ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十一條 工事ニ著手シ又ハ工事完了シタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官及所轄稅署長ニ届出ツヘシ
- 第十二條 規約ヲ以テ整理施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ各區毎ニ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十二條ノ二 耕地整理法第十四條及第十五條第一號但書、第二號ノ規定ニ依リ地價ノ修正又ハ設定ヲ要スル土地ニ付テハ整理施行者ハ従前ノ土地ノ字、番號、地目、面積及修正又ハ設定地價ノ



見積額ヲ記シタル書面竝從前ノ土地及工事施行後ニ於ケル土地各筆ノ區域ヲ表示シタル圖面ヲ作  
リ第十一條ノ規定ニ依ル工事完了ノ届出ト共ニ所轄稅務署長ニ之ヲ差出スヘシ但シ地價ノ見積ニ  
付テハ評議員ヲ置ク耕地整理組合ニ在リテハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第十三條 整理施行者ハ工事完了ノ届出ヲ爲シタル後遲滯ナク換地説明書、整理確定圖及地價配當  
案ヲ作ルヘシ

前項ノ地價配當案ハ耕地整理組合ニ在リテハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處  
分ノ議決ヲ爲ス總會又總會議ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第十三條ノ二 地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ整理施行者又ハ組合員タル場合  
ニ於テ一人施行者又ハ共同施行者耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可ヲ申請セムトスル  
トキハ七日前ニ、耕地整理組合同條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲ス總會又ハ總會  
議ヲ招集セムトスルトキハ同時ニ其ノ旨ヲ土地所有者ニ通知スヘシ

第十四條 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ換地説明書、整理確定圖及耕地  
整理組合ニ在リテハ總會又ハ總會議ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十五條 耕地整理法第十五條第一號ノ規定ニ依リ地價ヲ修正又ハ設定シタル場合ニ於テ工事完了  
前事業ノ廢止又ハ耕地整理組合ノ解散ノ爲工事ノ利益ヲ受クルコト能ハサル土地ニ付テハ廢止又  
ハ解散ノ時ヨリ地價ノ修正又ハ設定ナカリシモノト看做ス整理施行地區ノ變更ニ依リ地區外ニ除  
斥セラレタル土地ニ付亦同シ

第十五條ノ二 耕地整理地價据置年期又ハ耕地整理新開免租年期ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事完  
了ノ届出ヲ爲シタル後三十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テ整理施行者ハ  
代リテ其ノ申請ヲ爲スコトヲ得

前項年期延長ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ年期滿了後六十日以内ニ所轄稅務署長ニ之ヲ申請スヘシ  
耕地整理法第十四條ノ二ノ規定ニ依リ民有地ト爲シタル土地ニシテ第一項ノ期間内ニ耕地整理新  
開免租年期ノ申請ナキトキハ直ニ其ノ地價ヲ定ム

第十六條 耕地整理法第三十條第三項ノ認可アリタルトキハ整理施行者ハ地價配當案ニ耕地整理法  
第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本、換地説明書及整理確定圖ヲ添附シテ所轄稅務署長ニ  
差出シ地價ノ配賦ヲ受クヘシ



第十七條 耕地整理法第十六條ノ規定ニ依ル申告ハ地價ノ配賦ヲ受ケタル後遲滞ナク所轄稅務署長ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ共同施行者又ハ耕地整理組合ニ在リテハ協議一致ヲ證スル書面、協議一致セサルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十七條ノ二 耕地整理法第三十條第四項ノ規定ニ依ル認可ノ通知ハ通知書ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ認可ノ變更又ハ更正アリタル場合亦同シ但シ其ノ添附書類ハ變更又ハ更正アリタル部分ニ關スルモノヲ以テ足ル

- 一 耕地整理法第三十條第三項ノ規定ニ依ル認可書ノ謄本
- 二 整理施行者ノ氏名若ハ名稱、住所ヲ記載シタル書面
- 三 換地説明書
- 四 整理確定圖

第十七條ノ三 前條第三號及第四號ノ書類ハ耕地整理地區カニ以上ノ登記所ノ管轄ニ涉ル場合ニ於テハ各登記所ノ管轄ニ屬スル地域毎ニ分割シタルモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ得但シ甲登記所ノ管轄ニ屬スル從前ノ土地ニ對シ乙登記所ノ管轄内ニ於テ換地ヲ交付シタルモノアルトキハ其ノ牽

聯スル從前ノ土地及換地ハ換地説明書ノ分割シタルモノニ之ヲ表示スヘシ

第十八條 整理施行地又ハ之ニ存スル建物ニ付登記ヲ爲シタルトキハ登記權利者ハ遲滞ナク整理施行者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十九條 耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シタル後同條第四項ノ告示前ニ於テ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限ニ關スル登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十三條ノ指定ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アル場合ニ於テ耕地整理法第三十三條ノ指定ヲ爲ササリシモノアルトキ亦前項ニ同シ  
耕地整理法第三十條第四項ノ告示前ニ於テ換地ノ一部ニ該當スル從前ノ土地ニ付所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルモノアルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク同法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條ノ二 前條ノ規定ハ耕地整理登記令第八條ノ五但書ノ規定ニ依リ耕地整理法第三十條第四項ノ告示後登記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス



第二十條 共同施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ニ依ル耕地整理ノ事業年度ハ一箇年トス  
前項ノ事業年度ハ九月一日ヨリ翌年八月三十一日迄トス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別  
段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度前經費ノ收支豫算ヲ定ムヘシ但  
シ初年度ニ於テハ耕地整理施行又ハ耕地整理組合若ハ聯合會設立ノ認可後遲滯ナク之ヲ爲スヘシ  
第二十二條 共同施行者又ハ耕地整理組合若ハ聯合會ハ每事業年度經過後遲滯ナク當該年度ノ事業  
報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第二十三條 耕地整理法第三十五條ノ規定ニ依ル公告ハ整理施行地區ノ屬スル各市役所又ハ町村役  
場ノ揭示場ニ三日間送附スヘキ書類ノ要領ヲ揭示スヘシ

第二十四條 耕地整理法第三十八條第一項ノ規定ニ依リ耕地整理ノ事業ヲ郡、市町村又ハ水利組合  
ニ引繼ク場合ニ於テ其ノ引繼完了シタルトキハ共同施行者又ハ耕地整理組合長ハ遲滯ナク其ノ旨  
ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレタルトキ又ハ耕地整理組合ノ清算結了シタルトキ

ハ整理施行者又ハ組合長ハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ整理施行地區ノ屬スル市町村長  
ニ引渡スヘシ其ノ整理施行地區二以上ノ市町村ニ涉ルトキハ整理施行者又ハ組合長ノ申請ニ依リ  
地方長官ニ於テ其ノ書類及帳簿ヲ引渡スヘキ市町村長ヲ指定スヘシ

耕地整理法第五十三條第一項第五號ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

耕地整理組合聯合會ノ清算結了シタルトキハ會長ハ聯合會ニ關スル一切ノ書類及帳簿ヲ其ノ所屬  
組合ノ一ニ引渡スヘシ

第二十六條 市町村長前條第一項ノ規定ニ依リ書類及帳簿ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ引渡ヲ受ケ  
タル日ヨリ左ニ掲クルモノニ付テハ十年間、其ノ他ノモノニ付テハ五年間之ヲ保存スヘシ

一 耕地整理法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依ル認可、認許又ハ同意ヲ證スル書面

二 設計書

三 規約

四 土地原簿

五 權利者名簿又ハ組合員名簿



- 六 議事録
- 七 換地説明書
- 八 整理確定圖
- 九 事業報告書
- 十 收支決算書

前項ノ規定ハ明治四十二年勅令第二百三十一號第三條ノ規定ニ依リ郡長、市町村長又ハ水利組合  
管理者カ耕地整理ニ關スル書類及帳簿ノ引繼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條ノ二 耕地整理法第八十七條ノ規定ニ依ル申請書ニハ申請ノ目的及事由ヲ記載シ協議調  
ハサルトキハ其ノ顛末書ヲ、協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ事由書ヲ添附スヘシ  
地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ協議ノ相手方ニ交付シ且交付ヲ受ケタル日ヨリ十  
四日以内ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ附記スヘシ  
協議ノ相手方前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出ササルトキハ地方長官ハ申請書ノミニヨリテ決定スル  
コトヲ得申請書ノ交付ヲ爲スコト能ハサルトキ亦同シ

第二十七條 本則中府縣、郡、市町村、市町村長、市役所又ハ町村役場トアルハ府縣制、郡制、市  
町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

第二十七條ノ二 整理施行地區カ數府縣ニ涉ル場合ニ於テハ本則中地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ  
關係地方長官中主務大臣ノ指定スルモノ之ヲ行フ

第二章 一人施行及共同施行

第二十八條 耕地整理法第三條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 一人ニテ耕地整理ヲ施行セムトスル者ニ在リテハ事業ノ範圍
- 二 第三十二條第一號乃至第三號ノ事項
- 三 整理施行者ノ員數
- 四 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者、豫約開墾者又ハ埋立若ハ干  
拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地又ハ水面ノ權利別地目別ノ面積及  
地價若ハ假地價

五 耕地整理法第四十三條ノ土地アルトキハ其ノ表示

耕地整理法施行規則



六 整理施行地區ヨリ特ニ除斥シタル土地アルトキハ其ノ事由前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添附スヘシ

一 耕地整理法第四十三條第一項第一號ノ土地ニシテ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者カ其ノ土地ニ付整理施行者タル場合ニ非サル土地、第二號及第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許アリタルコトヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面

三 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第二十九條 耕地整理法第十一條第一項ノ土地ニ付テハ國ハ之ヲ整理施行者ト看做サス

第三十條 共同施行者ハ耕地整理ノ施行ニ關シ書類又ハ通知ノ授受ノ爲代表者一人ヲ定メ耕地整理施行ノ認可申請ト同時ニ其ノ氏名、住所ヲ地方長官ニ届出テ且之ヲ公告スヘシ代表者又ハ其ノ氏名、住所ニ變更アリタル場合亦同シ

第三十一條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル整理施行者ハ耕地整理施行ノ認可アリタル後遲滯ナク

土地原簿及權利者名簿ヲ調製スヘシ

第三十二條 土地原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理施行地ノ總面積及總地價

二 整理施行地ノ筆數、面積及地價ノ地目別合計

三 土地各筆ノ字、番號及地目並水面ノ位置

四 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地、豫約開墾ヲ爲ス土地、工作物アル土地又ハ所有權以外ノ登記シタル權利ノ目的タル土地アルトキハ其ノ表示

第三十三條 權利者名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 整理施行者タル土地所有者、地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ノ氏名若ハ名稱、住所並其ノ所有權其ノ他ノ權利ノ目的タル土地ノ字、番號、地目、面積、地價、等位及權利ノ表示

二 整理施行者タル埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ氏名、若ハ名稱、住所並其ノ權利ノ目的

耕地整理法施行規則



タル水面ノ位置及面積

- 三 土地又ハ水面ノ價額若ハ等位ヲ評定シ、面積ヲ實測シ又ハ假地價ヲ附シタルトキハ其ノ價額、等位、面積又ハ假地價
- 四 關係人又ハ整理施行地ニ存スル建物ニ付先取特權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ノ氏名若ハ名稱、住所及登記ノ要領
- 五 整理施行者タル地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ノ權利ノ目的タル土地ノ所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及土地ノ表示
- 六 工作物所有者ノ氏名若ハ名稱、住所及工作物ノ表示
- 七 耕地整理法第二十五條第二項又ハ第二十五條ノ二第二項ノ訴訟當事者アルトキハ其ノ氏名若ハ名稱、住所及訴訟ノ要領

第三十四條 土地原簿又ハ權利者名簿ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ更正スヘシ

第三十五條 耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル設計書、規約若ハ整理施行地區ノ變更又ハ事業ノ停止

若ハ廢止ノ認可申請書ニハ其ノ事由ヲ記載シ之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

事業ヲ廢止シ、債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更シ又ハ整理施行地區ヲ減少セムトスル場合ニ於テ借入金アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

整理施行地區ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラルヘキ土地又ハ水面ノ整理施行者タルヘキ者又ハ整理施行者タル者ノ同意ヲ證スル書面、其ノ變更カ豫約關繫者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ但シ第二十八條ノ規定ハ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除斥セラルヘキ土地又ハ水面ニ付之ヲ準用ス

第三十六條 一人ニテ施行スル耕地整理ヲ變シテ數人共同ノ施行ト爲サムトスルトキハ認可申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ協議一致ヲ證スル書面、規約、數人共同ノ施行ト爲ス爲定メタル必要ノ事項ヲ記載シタル書面及第二十八條第一項第三號、第四號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ

第三十七條 數人共同シテ施行スル耕地整理ニシテ整理施行者カ一人ト爲リタルトキハ其ノ旨ヲ地



方長官ニ届出ツヘシ

第三十八條 第二十二條ノ規定ハ耕地整理法第三條ノ規定ニ依ル耕地整理事業完了シ若ハ廢止セラレ又ハ之ヲ郡、市町村若ハ水利組合ニ引繼キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 耕地整理組合

第三十九條 耕地整理組合設立ノ認可申請者ハ土地原簿及組合員名簿ヲ調製スヘシ

第四十條 土地原簿ニハ第三十二條ニ掲クル事項ノ外耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示ヲ爲スヘシ

第四十一條 第三十三條ノ規定ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第三十四條ノ規定ハ耕地整理組合ノ土地原簿又ハ組合員名簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 耕地整理法第五十條ノ條件ニ算定スル場合ニ於テ整地整理法第十一條第一項ノ土地ハ之ヲ算入セス

第四十四條 耕地整理組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 第二十八條第一項第二號、第五號、第六號ノ事項及第三號、第四號ニ準スル事項

二 耕地整理法第四十四條第一項ノ土地アルトキハ其ノ表示

前項ノ申請書ニハ左ニ掲クル書面ヲ添付スヘシ

一 組合員タルヘキ者ニシテ組合設立ニ同意シタル者ノ總數及其ノ土地、水面ノ總面積及總地價並其ノ同意ヲ證スル書面

二 耕地整理法第四十三條第一項第一號乃至第三號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付主務官廳又ハ公共團體ノ認許又ハ同意アリタルコトヲ證スル書面

三 耕地整理法第四十三條第一項第四號乃至第八號ノ土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者、關係人及其ノ土地ニ存スル建物ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ同意ヲ證スル書面

四 特別ノ價值又ハ用途ヲ有スル土地アルトキハ其ノ編入ニ付土地所有者及關係人ノ同意ヲ證スル書面、其ノ同意ヲ得サルトキハ其ノ價值又ハ用途、土地所有者及關係人ノ氏名若ハ名稱並同意セサル事由及之ヲ編入スルニ非サレハ耕地整理ヲ適當ニ施行スルコト能ハサル事由ヲ記載シタル書面

五 組合員タルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者アルトキハ土地所有者及賃



貸人ノ同意ヲ證スル書面

六 埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル水面アルトキハ其ノ許可ヲ證スル書面

第四十五條 組合設立ノ認可アリタルトキハ申請者ハ遲滯ナク總會ヲ招集スヘシ

前項ノ總會ニ於テハ組合長、組合副長、評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員ノ選舉並組合設立ニ關スル費用其ノ他必要ナル事項ニ付表決ヲ爲スヘシ

第四十六條 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ノ認可申請書ニハ總會、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

前項選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添附シ特別ノ事情ニ依リ組合員ニ非サル者ヲ選任シタル場合ニ於テハ尙其ノ事情ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第四十七條 組合長ノ就任アリタルトキハ組合設立ノ認可申請者ハ遲滯ナク組合ニ關スル一切ノ事務及書類、帳簿ヲ之ニ引繼クヘシ

第四十八條 耕地整理法第四十七條ノ規定ニ依ル代表者アルトキハ組合長ハ其ノ氏名、住所若ハ居所ヲ組合員名簿ニ記載スヘシ

第四十九條 組合會ハ百人以上ノ組合員ヲ有スル組合ニ非サレハ之ル設クルコトヲ得ス

組合會ヲ設ケムトスルトキハ規約中ニ議員ノ定數並任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第五十條 組合會議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

第五十一條 組合會ニ於テハ第四十五條第二項ノ表決ヲ爲シ又ハ耕地整理法第三十條第一項、第二項ノ規定ニ依ル處分ノ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十二條 組合會議員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

第五十三條 組合會ニ於テ耕地整理法第五十四條第一項又ハ第六十一條第二號若ハ第五號ノ事項ノ表決ヲ爲スニハ組合會議員總數ノ過半數ノ同意アルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ規約ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 組合會議員ハ組合會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第五十五條 總會又ハ組合會ハ少クモ每事業年度一回之ヲ開クヘシ

第五十六條 耕地整理法第五十五條第一項ノ總會議ニ於テハ編入區域ノ土地所有者ハ其ノ編入區域ノ土地所有者ニ非サル者ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得ス



第五十七條 代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合設立ノ認可申請者又ハ組合長ニ差出スヘシ

第五十八條 評議員ハ三人以上トス

評議員ハ組合長又ハ組合副長ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五十九條 評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

評議員總數ノ五分一以上ニ當ル者ヨリ會議ノ目的及其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ評議員會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合長カ前項招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル評議員ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得

評議員會ノ議事ハ評議員ノ半數以上出席シ其ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第六十條 組合設立ノ認可申請者、組合長、組合副長、評議員及組合會議員ハ規約ニ別段ノ規定アルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第六十條ノ二 組合ハ耕地整理法第七十三條第四項ノ規定ニ依リ指定セラレタル臨時代理者ニ給料及旅費等ヲ支給スヘシ但シ臨時代理者官吏ナルトキハ給料ヲ支給スルコトヲ要セス

第六十一條 總會、總會議、組合會及評議員會ノ議長ハ組合長之ニ當ル但シ第四十五條ノ總會ニ在

リテハ認可申請者ノ一人、耕地整理法第五十五條ノ總會議ニ在リテハ編入區域ノ土地所有者ノ一人之ニ當ル

評議員會ノ議事カ業務又ハ財産ノ狀況ノ監査ニ關スルトキハ評議員ノ一人其ノ議長ト爲ル第五十九條第三項ニ依ル評議員ニ付亦同シ

第六十二條 總會、總會議、組合會又ハ評議員會ノ議長ハ會議ノ議事録ヲ作りテ左ノ事項ヲ記載シ之ニ議長及出席シタル組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員二人以上記名捺印スヘシ

一 開會ノ日時及場所

二 組合員、編入區域ノ土地所有者、組合會議員又ハ評議員ノ現在總數及出席シタル者ノ氏名若ハ名稱

三 議事ノ要領

四 表決シタル事項

五 贊否ノ數



耕地整理法第五十條ノ條件ヲ具備スルコトヲ要スル表決ヲ爲ス總會又ハ總會議ノ議事録ニハ前項ニ記載シタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 組合ノ地區若ハ編入區域内ノ土地ノ所有者總數、總面積及總地價
- 二 贊成者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ總面積及總地價

總會又ハ總會議ノ表決ニ付規約ノ規定ニ依ル特別ノ條件ヲ具備スルコトヲ必要トスル場合ニ於テ前二項ニ依ル記載ニシテ其ノ條件ヲ具備シタルコトヲ明カニスルコト能ハサルトキハ之ヲ示スヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十三條 組合長ハ耕地整理法第五十五條ノ規定ニ依ル總會議ヲ開カムトスルトキハ招集ノ通知ヲ發スル日ヨリ少ナクモ十日前三日間編入區域ノ屬スル各市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ編入セムトスル區域及總會議ノ日時、場所及目的ヲ揭示スヘシ

#### 第六十四條 (削除)

第六十五條 耕地整理法第五十四條第一項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ設計書若ハ規約ノ變更、組合ノ解散、合併、地區ノ變更又ハ事業ノ停止ノ事由及之ニ關シ定メタル必要ノ事項ヲ記載シ總會、

總會議、組合會又ハ評議員會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

組合ノ解散、合併、地區ノ減少又ハ債務ノ分擔ニ關スル規約ヲ變更セムトスル場合ニ於テ組合債アルトキハ債權者ノ同意ヲ證スル書面、組合ヲ解散セムトスル場合ニ於テハ尙事業報告書及收支決算書ヲ添附スヘシ

第四十四條ノ規定ハ第二項第一號ヲ除クノ外地區變更ノ認可申請ノ場合ニ於テ地區ニ編入シ又ハ地區ヨリ除外セラルヘキ土地ニ付之ヲ準用ス但シ其ノ變更力豫約開墾者又ハ埋立若ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ノ權利ノ消滅ニ依ルモノナルトキハ權利ノ消滅ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

編入區域ノ土地所有者ノ同意ヲ以テ總會議ニ代ヘタル場合ニ於テハ同意シタル土地所有者ノ氏名若ハ名稱及其ノ所有スル土地ノ面積、地價ヲ記載シタル書面並其ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第六十五條ノ二 土地所有者ニ非スシテ組合員タルヘキ者ハ第五十六條、第六十一條、第六十二條、及前條ノ適用ニ付テハ之ヲ編入區域ノ土地ノ所有者ト看做ス

第六十六條 組合カ耕地整理法第五十三條第一項第一號、第二號、第七號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ組合長又ハ最終ニ組合員タリシ者ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ添附シテ其ノ旨ヲ遲滯ナ



ク地方長官ニ届出ツヘシ

第六十七條 組合カ耕地整理法第五十三條第一項第四號乃至第六號ノ事由ニ依リ解散シタルトキハ  
遲滞ナク組合長ヨリ事業報告書及收支決算書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第六十八條 組合カ合併シタルトキハ耕地整理ニ關スル一切ノ書類及帳簿ハ合併後存續シ又ハ合併  
ニ依リ設立シタル組合ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第六十九條 清算結了シタルトキハ組合長ハ遲滞ナク清算ニ關スル報告書ヲ作り之ヲ總組員ニ報  
告シ且之ヲ添附シテ清算結了ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四章 耕地整理組合聯合會

第六十九條ノ二 耕地整理組合聯合會ヲ設ケムトスルトキハ各組合連署ヲ以テ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ各組合ノ聯合會設立ニ關スル議事録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六十九條ノ三 第四十六條、第四十七條、第六十條、第六十條ノ二、第六十五條第一項、第二項  
及第六十六條乃至第六十九條ノ規定ハ耕地整理組合聯合會ニ之ヲ準用ス

附則

第七十條 本則ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十二年十月十六日ヨリ施行）

明治三十三年農商務省令第十四號ハ之ヲ廢止ス（耕地整理施行ノ認可アリタルトキ申告事項ノ  
件）

第七十一條 耕地整理法施行前耕地整理ニ關シ發起又ハ施行ノ認可ヲ得タルモノニ付テハ本則第四  
條、第十條、第十一條、第十二條ノ二、第十七條ノ二、第十九條乃至第二十三條、  
第二十七條及第三十八條ノ規定ヲ準用スルノ外舊則ノ規定ヲ適用ス但シ舊則第三十一條中農商務  
大臣トアルハ地方長官トス

七十二條 耕地整理法施行前耕地整理ノ發起ノ認可ヲ得タル者ヲ耕地整理組合ト爲サムトスルト  
キハ發起人又ハ整理委員ハ總會ヲ招集シテ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、  
第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ並組合長、組合副  
長、評議員ヲ置クモノニ在リテハ評議員ヲ選舉シ總會ノ議事録ヲ添附シテ大正二年十月十五日迄  
ニ耕地整理組合ト爲スノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ  
前項ノ總會ニハ耕地整理法及本則ノ規定ヲ適用ス



耕地整理法第七十三條第三項ノ認可申請ハ第一項ノ申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ本則第四十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第七十三條 前條ノ場合ニ於テ百人以上ノ參加土地所有者アルトキハ發起人又ハ整理委員ハ總代選舉規程ヲ作りテ地方長官ノ認可ヲ得タル後其ノ選舉規程ニ依リ選舉シタル總代ヲ以テ組織スル總代會ヲ招集シ總會ニ代フルコトヲ得

前項ノ總代會ニハ耕地整理法第六十六條、第六十八條第一項竝本則第五十二條、第五十三條及第六十二條第一項ノ規定ヲ準用ス

第七十四條 前二條ノ總會又ハ總代會ニ在リテハ第七十二條ニ記載シタル事項ノ外必要ナル事項ヲ表決スルコトヲ得

第七十五條 耕地整理法施行前耕地整理發起ノ認可ヲ申請シ未タ之ヲ得ルニ至ラサル者ニシテ耕地整理組合設立ノ申請ト爲サムトスルトキハ發起人ハ參加土地所有者ノ總會議ヲ招集シ本則第八條第五號、第十號及第九條第一號乃至第五號、第九號、第十一號ノ事項其ノ他必要ナル事項ニ付設計書及規約ノ變更ヲ議決シ總會議ノ議事録ヲ添附シ明治四十三年四月十五日迄ニ耕地整理組合設

立ノ申請ト爲ス旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第七十二條第二項及第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條 七十二條第一項ノ認可申請又ハ前條ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ耕地整理法第四十三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スコトヲ要スルモノニ付テハ本則第七條及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

大正四年五月農商務省令第八號附則

本令ハ大正三年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前耕地整理法第三十條第三項又ハ舊耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルモノニシテ未タ耕地整理法第三十六條ノ登記ノ申請ヲ爲ササルモノニ付テハ地方長官ハ第十七條ノ二及第十七條ノ三ニ準シテ管轄登記所ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

大正八年五月農商務省令第二十一號附則

本令ハ大正八年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



# ○借地法

(大正十年四月八日  
法律第四十九號)

第一條 本法ニ於テ借地權ト稱スルハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及賃借權ヲ謂フ

第二條 借地權ノ存續期間ハ石造、土造、煉瓦造又ハ之ニ類スル堅固ノ建物ノ所有ヲ目的トスルモノニ付テハ六十年、其ノ他ノ建物ノ所有ヲ目的トスルモノニ付テハ三十年トス但シ建物カ此ノ期間満了前朽廢シタルトキハ借地權ハ之ニ因リテ消滅ス

契約ヲ以テ堅固ノ建物ニ付三十年以上、其ノ他ノ建物ニ付二十年以上ノ存續期間ヲ定メタルトキハ借地權ハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ期間ノ満了ニ因リテ消滅ス

第三條 契約ヲ以テ借地權ヲ設定スル場合ニ於テ建物ノ種類及構造ヲ定メサルトキハ借地權ハ堅固ノ建物以外ノ建物ノ所有ヲ目的トスルモノト看做ス

第四條 借地權消滅ノ場合ニ於テ建物アルトキハ借地權者ハ契約ノ更新ヲ請求スルコトヲ得  
土地所有者カ契約ノ更新ヲ欲セサルトキハ時價ヲ以テ建物其ノ他借地權者カ權原ニ因リテ土地ニ  
附屬セシメタル物ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第五條 當事者カ契約ヲ更新スル場合ニ於テハ借地權ノ存續期間ハ更新ノ時ヨリ起算シ堅固ノ建物ニ付テハ三十年、其ノ他ノ建物ニ付テハ二十年トス此ノ場合ニ於テハ第二條第一項但書ノ規定ヲ準用ス

當事者カ前項ニ規定スル期間ヨリ長キ期間ヲ定メタルトキハ其ノ定ニ從フ

第六條 借地權者借地權ノ消滅後土地ノ使用ヲ繼續スル場合ニ於テ土地所有者カ遲滯ナク異議ヲ述ヘサリシトキハ前契約ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ借地權ヲ設定シタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス

第七條 借地權ノ消滅前建物カ滅失シタル場合ニ於テ殘存期間ヲ超エテ存續スヘキ建物ノ築造ニ對シ土地所有者カ遲滯ナク異議ヲ述ヘサリシトキハ借地權ハ建物滅失ノ日ヨリ起算シ堅固ノ建物ニ付テハ三十年間、其ノ他ノ建物ニ付テハ二十年間存續ス但シ殘存期間之ヨリ長キトキハ其ノ期間ニ依ル

第八條 前二條ノ規定ハ借地權者カ更ニ借地權ヲ設定シタル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 前七條ノ規定ハ臨時設備其ノ他一時使用ノ爲借地權ヲ設定シタルコト明ナル場合ニハ之ヲ



適用セス

一三八

第十條 第三者カ賃借權ノ目的タル土地ノ上ニ存スル建物其ノ他借地權者カ權原ニ因リテ土地ニ附屬セシメタル物ヲ取得シタル場合ニ於テ賃貸人カ賃借權ノ讓渡又ハ轉貸ヲ承諾セサルトキハ賃貸人ニ對シ時價ヲ以テ建物其ノ他借地權者カ權原ニ因リテ土地ニ附屬セシメタル物ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第十一條 第二條、第四條乃至第八條及前條ノ規定ニ反スル契約條件ニシテ借地權者ニ不利ナルモノハ之ヲ定メサルモノト看做ス

第十二條 地代又ハ借賃カ土地ニ對スル租稅其ノ他ノ公課ノ増減若ハ土地ノ價格ノ昂低ニ因リ又ハ比隣ノ土地ノ地代若ハ借賃ニ比較シテ不相當ナルニ至リタルトキハ契約ノ條件ニ拘ラス當事者ハ將來ニ向テ地代又ハ借賃ノ増減ヲ請求スルコトヲ得但シ一定ノ期間地代又ハ借賃ヲ増加セサルヘキ特約アルトキハ其ノ定ニ從フ

第十三條 土地所有者又ハ賃貸人ハ辨濟期ニ至リタル最後ノ二年分ノ地代又ハ借賃ニ付借地權者カ其ノ土地ニ於テ所有スル建物ノ上ニ先取特權ヲ有ス

前項ノ先取特權ハ地上權又ハ賃貸借ノ登記ヲ爲スニ因リテ其ノ效力ヲ保存ス

第十四條 前條ノ先取特權ハ他ノ權利ニ對シテ優先ノ效力ヲ有ス但シ國稅徵收法ニ依リ徵收スルコトヲ得ヘキ請求權、共益費用不動産保存不動産工事ノ先取特權及地上權又ハ賃貸借ノ登記前登記シタル質權抵當權ニ後ル

附則

第十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年五月勅令第二百七號ヲ以テ同年五月十五日ヨリ施行）

第十六條 本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年五月勅令第二百七號ヲ以テ施行地區指定）

第十七條 本法施行前設定シタル地上權又ハ賃借權ニシテ建物ノ所有ヲ目的トスルモノノ存續期間ハ既ニ經過シタル期間ヲ算入シ堅固ノ建物ノ所有ヲ目的トスルモノニ付テハ三十年、其ノ他ノ建物ノ所有ヲ目的トスルモノニ付テハ二十年トス但シ建物カ此ノ期間滿了前朽廢シタルトキハ借地權ハ之ニ因リテ消滅シ堅固ノ建物ニ付三十年ヲ超エ、其ノ他ノ建物ニ付二十年ヲ超ユル存續期間

借地法

一三九



ノ定アル地上權ハ其ノ期間ノ滿了ニ因リテ消滅ス

建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ賃借權ニ付存續期間ノ定ナキ場合ニ於テ本法施行前二十年以

上ヲ經過シタルトキハ當事者ハ二十年毎ニ契約ヲ更新シタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第一項ノ規定ハ臨時設備其ノ他一時使用ノ爲設定シタルコト明ナル地上權及賃借權ニ付之ヲ適用セス

第十八條 前條ニ規定スルモノヲ除クノ外本法施行ノ際現ニ存スル地上權又ハ賃借權ニシテ建物ノ所有ヲ目的トスルモノニ付亦本法ヲ適用ス

### ○借家法

(大正十年四月八日法律第五十號)

第一條 建物ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ建物ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ建物ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ス

民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ登記セサル賃貸借ノ目的タル建物カ賣買ノ目的物ナル場合ニ之ヲ準用ス

民法第五百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二條 賃貸借ノ期間滿了ノ後賃借人カ建物ノ使用又ハ收益ヲ繼續スル場合ニ於テ賃借人カ遲滯ナク異議ヲ述ヘサリシトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第三條 賃借人ノ解約申入ハ六月前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

六月未滿ノ期間ノ定アル賃貸借ハ之ヲ期間ノ定ナキモノト看做ス

前條ノ規定ハ賃貸借カ解約申入ニ因リテ終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 解約申入ニ因リテ終了スヘキ轉賃借アル場合ニ於テ賃貸借カ終了スヘキトキハ賃借人ハ轉



借人ニ對シ其ノ旨ノ通知ヲ爲スニ非サレハ其ノ終了ヲ以テ轉借人ニ對抗スルコトヲ得ス

賃貸人カ前項ノ通知ヲ爲シタルトキハ轉賃借ハ其ノ通知ノ後六月ヲ經過スルニ因リテ終了ス

第五條 賃貸人ノ同意ヲ得テ建物ニ附加シタル疊、建具其ノ他ノ造作アルトキハ賃借人ハ賃賃借終了ノ場合ニ於テ其ノ際ニ於ケル賃貸人ニ對シ時價ヲ以テ其ノ造作ヲ買取ルヘキコトヲ請求スルコトヲ得賃貸人ヨリ買受ケタル造作ニ付亦同シ

第六條 前五條ノ規定ニ反スル特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲ササルモノト看做ス

第七條 建物ノ賃賃カ土地若ハ建物ニ對スル租稅其ノ他ノ負擔ノ増減ニ因リ、土地若ハ建物ノ價格ノ昂低ニ因リ又ハ比隣ノ建物ノ賃賃ニ比較シテ不相當ナルニ至リタルトキハ契約ノ條件ニ拘ラス當事者ハ將來ニ向テ賃賃ノ増減ヲ請求スルコトヲ得但シ一定ノ期間賃賃ヲ増加セサルヘキ特約アルトキハ其ノ定ニ從フ

第八條 本法ハ一時使用ノ爲建物ノ賃賃借ヲ爲シタルコト明ナル場合ニハ之ヲ適用セス

#### 附則

第九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十年五月勅令第二百七號ヲ以テ同年五月十五

#### 日ヨリ施行)

第十條 本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十年五月勅令第二百七號ヲ以テ施行地區指定)

第十一條 本法ハ本法施行前ニ爲シタル建物ノ賃賃借ニ付亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ賃賃人ノ解約ノ申入アリタル場合ニ於テハ賃賃借ハ既ニ經過シタル期間ヲ算入シ六月ヲ經過スルニ因リテ終了ス



○借地法及借家法施行期日及施行地區ニ關スル件

(大正十年五月十三日  
勅令第二百七號)

左ノ地區ニハ大正十年五月十五日ヨリ借地法及借家法ヲ施行ス

東京府

東京市

荏原郡ノ内

品川町、大崎町

豊多摩郡ノ内

淀橋町、大久保町、戸塚町、千駄ヶ谷町、澁谷町

北豊島郡ノ内

南千住町、巢鴨町、瀧野川町、高田町、日暮里町、西巢鴨町

南葛飾郡ノ内

吾嬬町、龜戸町、大島町、寺島村、砂村

京都府

京都市

大阪府

大阪市

西成郡ノ内

今宮町、鷺洲町、豊崎町、中津町、傳法町

東成郡ノ内

鶴橋町、中本町、天王子村

神奈川縣

横濱市

兵庫縣

神戸市

借地法及借家法施行期日及施行地區ニ關スル件



前項ノ地區外ニ跨リテ築造セラレタル建物アル場合ニ於テハ借地法及借家法ハ其ノ建物ノ存スル場  
所ニ付亦之ヲ適用ス

○土地收用法

(明治三十三年三月六日(大正三年三月)  
法律第二十九號(法律第十五號改正))

- 第一章 總 則
- 第二章 事業ノ準備
- 第三章 事業ノ認定
- 第四章 收用ノ手續
- 第五章 收用審査會
- 第六章 損失ノ補償
- 第七章 收用ノ效果
- 第八章 費用ノ負擔
- 第九章 監督、強制及罰則
- 第十章 訴願及訴訟
- 附 則(以上)



第一章 總則

一四八

第一條 公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲之ニ要スル土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要アルトキハ其ノ土地ハ本法ノ規定ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

本法ニ於テ使用ト稱スルハ權利ノ制限ヲ包含ス

第二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一 國防其ノ他軍事ニ關スル事業

二 官廳又ハ公署建設ニ關スル事業

三 教育、學藝又ハ慈善ニ關スル事業

四 鐵道、軌道、索道、道路、橋梁、河川、堤防、砂防、運河、用惡水路、溜池、船渠、港灣、埠頭、水道、下水、市場、電氣裝置、瓦斯裝置又ハ火葬場ニ關スル事業

五 衛生、測候、航路標識、防風、防火、水害豫防、其ノ他公用ノ目的ヲ以テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業

第三條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル起業者ノ權利義務ハ事業ト共ニ其ノ承繼

人ニ移轉ス

第四條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ起業者、土地所有者又ハ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第五條 本法ニ於テ土地所有者ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者ヲ謂フ

本法ニ於テ關係人ト稱スルハ收用又ハ使用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ謂フ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做サス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ハ土地ニ屬スル土石砂礫ノ收用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二章 事業ノ準備

土地收用法

一四九



第九條 事業ノ準備ノ爲必要アルトキハ起業者ハ事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ得テ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ起業者、事業ノ種類及立入ルヘキ土地ノ區域ヲ公告シ又ハ之ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ノ準備ノ爲其ノ土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ本條ノ許可又ハ通知ヲ要セス

第十條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ五日前ニ其日時及場所ヲ市町村長ニ通知スヘシ市町村長ハ之ヲ公告シ又ハ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ豫メ其ノ占有者ニ通知スヘシ  
日出前日没後邸内ニ立入ル場合ニ於テハ起業者ハ特ニ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 第九條ノ規定ニ依ル測量又ハ検査ノ爲必要アルトキハ起業者ハ行政廳ノ許可ヲ得テ障害物ヲ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ障害物ノ除却ヲ爲ス場合ニ於テハ起業者ハ三日前ニ其ノ所有者及占有者ニ通知スヘシ

### 第三章 事業ノ認定

第十二條 土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ハ内閣之ヲ認定シ但シ軍機ニ關スル事業ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スヘシ内務大臣ハ之ヲ審査シ内閣ニ提出スヘシ

宮内省又ハ國ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ協議ヲ爲シ之ヲ内閣ニ提出スヘシ

第十四條 内閣カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者及事業者ノ種類並起業地ヲ公告スヘシ

第十五條 天災地變ニ際シ急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ郡市長ハ其ノ事業ノ認定ヲナスコトヲ得

前項ノ使用ノ期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス



軍事上臨時急施ヲ要スル事業ノ爲土地ヲ使用スルトキハ主務大臣ハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第十六條 起業者カ郡市長ノ認定ヲ受ケムトスルトキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ定メ郡市長ニ申請スヘシ

第十七條 郡市長カ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ土地所有者占有者ニ通知スヘシ

郡市長カ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域ヲ土地所有者及占有者ニ通知スヘシ

第十八條 起業者カ内閣ノ認定ノ公告ノ後三箇年内ニ第十九條ノ申請ヲ爲ササルトキハ其ノ認定ハ效力ヲ失フ

第四章 收用ノ手續

第十九條 内閣ノ認定ノ公告ノ後起業者ノ申請ニ依リ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

軍機ニ關スル事業ニ付テハ主務大臣ハ地方長官ニ收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目ヲ通知シ地方長官ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十條 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ起業者ハ其ノ土地ニ立入り土地物件ヲ調査スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ起業者ハ立入ルヘキ日ヨリ三日前ニ其ノ日時及場所ヲ其ノ土地占有者ニ通知スヘシ

日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸内ニ立入ルコトヲ得ス

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ必要ト認ムルトキハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調書ヲ作ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調書ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ得但シ市町村長カ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス

土地所有者又ハ關係人カ調書ノ必要ヲ認メタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタル調書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述フル

土地收用法



コトヲ得ス

一五四

第二十二條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲  
土地所有者及關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

前項ノ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ起業者ハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムル  
コトヲ得

第二十三條 收用審査會ノ裁決ヲ求メムトスルトキハ起業者ハ其ノ申請書ニ左ニ掲ケタル書類ヲ添

ヘ地方長官ニ差出スヘシ但シ軍機ニ關スル事業ニ付テハ事業計畫書及圖面ヲ添フルコトヲ要セス

一 事業計畫書及圖面

二 市區町村別ニ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル書類

收用又ハ使用スヘキ土地ノ番號、地目

收用又ハ使用スヘキ土地ノ面積及其ノ土地ニ在ル物件ノ種類、數量但シ土地物件カ分割ヲ來ス

ヘキ場合ニ於テハ其ノ全部ノ面積建坪等ヲ併記スヘシ

損失補償ノ見積金額及内譯

收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

土地所有者及關係人ノ氏名、住所

收用審査會ノ裁決ヲ求メタルトキハ起業者ハ同時ニ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ豫メ公

告ヲ爲シ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ

第二十五條 土地所有者及關係人ハ前條縦覽期間ノ初日ヨリ二週間内ニ地方長官ニ意見書ヲ差出ス

コトヲ得

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間ヲ經過シタル後收用審査會ヲ開クヘシ

第二十七條 收用審査會ハ開會ノ日ヨリ一週間内ニ裁決ヲナスヘシ但シ地方長官ハ必要ト認ムルト

キハ二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 收用審査會カ前條ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ事情ヲ具シ内務大臣ノ

指揮ヲ請フヘシ内務大臣ハ收用審査會ニ一定ノ期間内ニ裁決ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ之ニ代テ

裁決ヲ爲スヘキコトヲ地方長官ニ命スルコトヲ得

土地收用法

一五五



收用審査會カ前項ノ期間内ニ裁決ヲ爲ササルトキハ地方長官ハ之ニ代テ裁決ヲ爲スヘシ

第二十九條 收用審査會カ招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ之

ニ代テ裁決ヲ爲スコトヲ得事業ノ急施ヲ要スルトキ亦同シ

第三十條 收用審査會カ裁決ヲ爲シタルトキハ其ノ裁決書ノ謄本ヲ添ヘ地方長官ニ報告スヘシ

第三十一條 前條ノ報告ヲ受ケ又ハ收用審査會ニ代テ裁決ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ裁決書ノ謄本ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ送達スヘシ

第三十二條 軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ノ施行ニ因リテ必要ヲ生シタル道路、堤防其ノ他公用ニ供スル工作物ノ新築、改築又ハ増築ノ爲土地ヲ收用又ハ使用スルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ直ニ本章ノ規定ニ依ルコトヲ得

第三十三條 郡市長カ認定ヲ爲シ又ハ第十五條第三項ノ通知ヲ受ケタル時ハ第十七條ノ通知ノ後起業者ヲシテ直ニ其ノ土地ヲ使用セシムルコトヲ得但シ損失ノ補償ニ關シテハ本法ノ規定ニ依ルヘシ  
第三十四條 起業者カ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後一箇年内ニ收用審査會ノ裁決ヲ求めサルトキハ其ノ公告又ハ通知ハ效力ヲ失フ

第五章 收用審査會

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ在ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

一 收用又使用スヘキ土地ノ區域

二 損失ノ補償

三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

第三十六條 收用審査會ハ會長一人委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十七條 會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ議事其ノ他ノ會務ヲ統理シ會ヲ代表ス

第三十八條 委員ハ高等文官及府縣名譽職參事會員各三人ヲ以テ之ニ充ツ

高等文官ニシテ委員タルヘキモノハ内務大臣之ヲ命ス府縣名譽職參事會員ニシテ委員タルヘキ者ハ其ノ互選トス



第三十九條 收用審査會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

收用審査會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 委員カ起業者、土地所有者又ハ關係人ナルトキハ收用審査會ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

委員カ起業者、土地所有者若ハ關係人ノ配偶者、四親等内ノ親族、戸主、家族、代理人及保佐人ナルトキ又ハ起業者、土地所有者若ハ關係人タル市町村ノ市參事會員、町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員、株式會社ノ取締役及監査役其ノ他法人ノ理事及監事ナルトキ亦前項ニ同シ

本條ノ規定ニ依リ委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ地方長官ハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ其ノ本條ノ規定ニ抵觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ

一 府縣名譽職參事會員

二 府縣名譽職參事會員ノ補充員

三 府縣會議員

第四十一條 收用審査會ノ裁決ハ起業者、土地所有者及關係人ノ申立タル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ビ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

前項ノ鑑定人ニ付テハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 收用審査會ハ必要ト認ムルトキハ起業者、土地所有者又ハ關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

收用審査會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者ヲ呼出シ其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第四十四條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ會ノ印章ヲ捺捺スヘシ

第四十五條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 二府縣以上ニ渉ル事業ニ係ルトキハ關係地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ合同シテ收用審査會ヲ開クコトヲ得

第六章 損失ノ補償

土地收用法



第四十七條 土地所有者及關係人ノ受クル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

損失ノ補償ハ各人別ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ各人別ニ見積リ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 收用スヘキ土地物件ニ付テハ相當ノ價額ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

使用スヘキ土地ニ付テハ其ノ土地及近傍類地ノ料金ニ依リ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第四十九條 土地ノ一部ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ損失ヲ補償スヘシ

第五十條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 收用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル物件ハ移轉料ヲ補償シテ移轉セシムヘシ但シ物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ全部ノ移轉料ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ物件ヲ移轉スルニ因リテ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 前條ノ移轉料ニシテ其ノ物件ノ相當價格ヲ超ユル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第五十三條 土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ道路、溝渠、墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲ス必要ヲ生スル時ハ其ノ費用ヲ補償スヘシ

第五十四條 前數條ニ規定シタルモノノ外土地ヲ收用又ハ使用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十五條 土地ノ使用カ三箇年以上ニ互ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキ若ハ使用スヘキ土地ニ建物アルトキハ所有者ハ其ノ土地ノ收用ヲ請求スルコトヲ得但シ空間ヲ使用スル場合ニ於テ土地ノ使用ヲ妨ケサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置シタル土地所有者又ハ關係人ハ之ニ關スル損失ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十七條 第九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ土地ニ立入り測量、検査又ハ調査ヲ爲スニ因リテ他



人ニ及ホシタル損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第五十八條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者カ事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ハ之ヲ補償スヘシ

第五十九條 前二條ノ補償ニ付キ協議調ハサルトキハ地方長官ノ決定ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條及第四十一條乃至第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第七章 收用ノ效果

第六十條 起業者ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

左ニ掲ケタル場合ニ於テハ補償金ヲ供託スルコトヲ得

- 一 補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ
- 二 起業者カ收用過失ナクシテ補償金ヲ受クヘキ者ヲ確知スルコト能ハサルトキ
- 三 起業者カ收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アルトキ但シ補償金ヲ受クヘキ者ノ請求アルトキハ起業者ハ自己ノ見積金額ヲ拂渡スヘシ
- 四 起業者カ補償金拂渡ノ差押又ハ假差押ヲ受ケタルトキ

第六十一條 土地所有者及關係人ハ收用又ハ使用ノ時期迄ニ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スヘシ但シ左ニ掲ケタル場合ニ於テハ起業者ノ請求ニ依リ市町村長ハ土地所有者及關係人ニ代ルモノ

トス

- 一 土地所有者及關係人カ土地物件ヲ引渡シ又ハ物件ヲ移轉スルコト能ハサルトキ
- 二 起業者ノ過失ナクシテ土地所有者及關係人ヲ確知スルコト能ハサルトキ

第六十二條 起業者カ收用又ハ使用ノ時期迄ニ補償金ノ拂渡又ハ供託ヲ爲ササルトキハ收用審査會ノ裁決ハ其ノ效力ヲ失フ但シ土地所有者及關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第六十三條 土地物件ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ其ノ權利ハ使用ノ時期ニ於テ起業者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間其ノ行使ヲ停止セラル但シ使用ヲ妨ケサルモノハ此ノ限ニアラス

第六十四條 收用審査會ノ裁決ノ後收用又ハ使用スヘキ土地物件カ土地所有者又ハ關係人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ起業者ノ負擔ニ歸ス

第六十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ其ノ目的物ノ收用又ハ使用ニ因リテ債務者カ受クヘキ補

土地收用法



償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第六十六條 收用ノ時期ヨリ二十箇年内ニ事業ノ廢止其ノ他ノ事故ニ因リテ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタルトキハ舊所有者又ハ其ノ相續人ハ補償價格ヲ以テ之ヲ買受クルコトヲ得但シ第五十條ノ規定ニ依リテ收用シタル殘地ハ其ノ接續部分ノ不用ニ歸シタル時ニ非サレハ之ヲ買受クルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ買受ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第一項ノ期間内ニ於テ收用シタル土地ヲ他ノ軍機ニ關スル事業又ハ内閣ノ認定シタル事業ニ供スルトキハ不用ニ歸シタルモノト看做サス

第六十七條 前條ノ不用ノ土地アルトキハ起業者ハ舊所有者又ハ其ノ相續人ニ通知スヘシ但シ起業者ノ過失ナクシテ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ少クトモ三回ノ公告ヲ爲スヘシ  
前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二箇月内又ハ第三回ノ公告終了ノ日ヨリ六箇月内ニ舊所有者又ハ其ノ相續人カ買受ノ通知ヲ爲ササルトキハ其ノ權利ヲ失フ

第八章 費用ノ負擔

第六十八條 起業者、土地所有者及關係人カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ規定シタル手續其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ義務ヲ履行スル爲ニ要シタル費用ハ各其ノ負擔トス

第六十九條 收用審査會ニ要シタル費用ハ命令ヲ以テ別ニ負擔者ヲ定メタルモノヲ除クノ外府縣ノ負擔トス第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テ亦同シ第七十二條ノ規定ニ依リ收用審査會ノ裁決ヲ取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ收用審査會ニ要シタル費用ハ之ヲ起業者、土地所有者及關係人ニ負擔セシムルコトヲ得ス

第七十條 第七十三條第一項ノ規定ニ依リ地方長官カ義務者ノ爲スヘキ事項ヲ自ラ執行シ又ハ他人ヲシテ執行セシメタル爲ニ要シタル費用ハ府縣ノ負擔トス

府縣ハ前項ノ費用ヲ各其ノ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得但シ其ノ義務者ノ受領スヘキ補償金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第七十一條 土地所有者又ハ關係人ノ負擔スヘキ費用ハ第六十一條但書ノ場合ニ於テハ市町村ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第九章 監督、強制及罰則

土地收用法



第七十二條 收用審査會カ其ノ權限ヲ超エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲シタル裁決ハ内務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ一定ノ期間内ニ終了スル見込ナキトキハ地方長官ハ自ラ之ヲ執行シ又ハ他人ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

義務者カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ依ル義務ヲ履行セサル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ地方長官ハ直接ニ之ヲ強制スルコトヲ得

第七十四條 前章ノ規定ニ依リ私人ノ負擔スヘキ費用ヲ支出セサル者アルトキハ行政廳ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ニ付テハ行政廳ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第七十五條 收用審査會員人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタルトキハ一年以下ノ「重禁錮」ニ處シ「四十圓以下ノ罰金ヲ附加」ス其ノ賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者亦同シ

第七十六條 第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條 第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ立入りタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者ハ詐僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ「重禁錮」ニ處シ「五十圓以下ノ罰金ヲ附加」ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐僞ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第八十條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭セサルトキハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十章 訴願及訴訟

第八十一條 收用審査會ノ裁決ニ對シテ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

收用審査會ノ違法裁決ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス



本法ノ規定ニ依リ通常裁判所ニ出訴ヲ許シタル事項ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第八十二條 收用審査會ノ裁決中補償金額ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決書謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三箇月ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ訴訟ハ收用審査會ニ對シテ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第五十九條ノ規定ニ依ル地方長官ノ決定ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條 本法ノ規定ニ依ル訴願訴訟ハ事業ノ進行及土地ノ收用又ハ使用ヲ停止セス

附則

第八十四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第八十五條 明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ本法ノ規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

明治二十二年法律第十九號土地收用法ノ規定ニ依リ收用シタル土地ニ關シテハ第六十六條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

明治八年太政官達第三百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ現ニ國有タル土地ハ命令ノ定ムル

所ニ依リ本條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條 收用審査會ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

郡長ノ爲スヘキ職務ハ支廳長又ハ島司ヲ置キタル地ニ於テハ支廳長又ハ島司之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ヲ置カサル地ニ於テハ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ支廳長又ハ島司ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

市長ノ爲スヘキ職務ハ北海道及沖繩縣ニ於テ區長ヲ置キタル地ニ於テハ區長之ヲ行フ

町村長ノ爲スヘキ職務ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スヘキ吏員之ヲ行ヒ町村長ニ準スヘキ吏員ヲ置カサル地ニ於テハ郡長ニ準スヘキ吏員之ヲ行フ

第八十七條 明治二十二年勅令第五號東京市區改正土地建物處分規則其ノ他別段ノ定アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

第八十八條 明治二十二年法律第十九號土地收用法明治二十三年法律第五十四號土地收用協議會規則及明治三十二年法律第七十二號ハ之ヲ廢止ス



○土地收用法施行令(明治三十三年三月三十日勅令第九十九號)

- 第一條 土地收用法第十條第三項及第十一條第一項ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ市町村長之ヲ行フ
- 第二條 土地收用法第九條、第十一條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ起業者ノ爲土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却スル者ハ其ノ證票ヲ携帯スヘシ
- 日出前日没後邸内ニ立入ル者又ハ障害物ヲ除却スル者ハ行政廳ノ許可證ヲ携帯スヘシ
- 第三條 起業者カ内閣ノ認定ヲ受ケムトスル場合ニ於テ起業地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ申請書ニ添附スヘシ
  - 一 御陵墓地及御料地
  - 二 國有地
  - 三 現ニ公用ニ供スル土地
  - 四 社寺境内地
  - 五 名所、舊蹟及古墳墓

- 第四條 土地收用法第十四條ノ規定ニ依ル公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
- 第五條 内閣ノ認定ノ公告ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地收用法第十九條ノ申請ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告スヘシ
- 第六條 土地收用法第二十一條ノ規定ニ依リ調書ヲ作りタル者ハ之ニ署名又ハ捺印スヘシ
- 第七條 土地收用法第二十四條ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ縦覽期間ノ始期ヲ地方長官ニ報告スヘシ
- 第八條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ工事計畫書及圖面ヲ添ヘ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シ出願スヘシ
  - 一 工事ノ種類
  - 二 收用又ハ使用スヘキ土地ノ細目
  - 三 其ノ必要ヲ生セシメタル事業トノ關係
- 本條ノ場合ニ於テハ第三條ノ規定ヲ準用ス



第九條 土地收用法第三十二條ノ規定ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキハ地方長官ハ收用又ハ使用スヘキ

土地ノ細目ト共ニ起業者及工事ノ種類ヲ公告シ又ハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十條 土地收用法第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後事業ヲ廢止變更シタルニ因リテ土地ヲ收用又ハ使用スルノ必要ナキニ至リタルトキハ起業者ハ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ之ヲ公告シ又ハ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第十一條 收用審査會會長及委員ニハ旅費ヲ支給ス

第十二條 收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費額及其ノ支給方法ハ内國旅費規則ノ定ムル所ニ依ル

高等文官ニ非サル委員ノ旅費額及其支給方法ハ府縣制第九十四條ノ規定ニ從ヒ定ムル所ニ依ル

第十三條 鑑定人及事實參考人ノ旅費額ハ左ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

- 一 汽車賃一哩ニ付三錢以上六錢以下
- 二 船賃一海里ニ付三錢以上六錢以下
- 三 車馬賃一里ニ付十錢以上三十錢以下

通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

第十四條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日金一圓乃至五圓ノ範圍内ニ於テ收用審査會ノ定ムル所ニ依ル

鑑定ヲ爲スニ付數多ノ時間又ハ特別ノ技能若ハ費用ヲ要スルトキハ前項ノ手當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

第十五條 土地收用法第五十九條ノ規定ニ依リ地方長官カ決定ヲ爲シタル場合ニ於テハ前二條ノ旅費額及手當ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 土地收用法第五十六條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ但シ物件ノ附加増置ニ關シテハ之ヲ郡市長ニ委任スルコトヲ得

第十七條 土地收用法第六十七條ノ規定ニ依ル公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條 土地收用法第七十四條ニ規定シタル行政廳ノ職權ハ同法第七十一條ノ場合ニ於テハ市町村長之ヲ行ヒ其ノ他ノ場合ニ於テハ地方長官之ヲ行フ

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス



### ○土地收用法第六條ニ基キテ發スル命令ノ件

(明治三十三年三月三十日)  
勅令 第百號

第一條 本令ハ土地收用法又ハ土地收用法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル期間ノ計算法、通知ノ方法及書類ノ送達ニ關シテ之ヲ適用ス

第二條 期間ヲ定ムルニ時ヲ以テシタルトキハ即時ヨリ之ヲ起算ス

第三條 期間ヲ定ムルニ日、週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始マルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第四條 期間ノ末日カ大祭日、日曜日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス但シ行政廳ニ對スル期間ハ其ノ末日カ行政廳ノ休日ニ當ルトキハ其ノ休日ノ終了シタル翌日ヲ以テ滿了ス

第五條 期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週、月又ハ年ノ始メヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ週、月又ハ年ニ於テ其ノ起算日

ニ相當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

第六條 土地收用法第十八條、第二十五條及第三十四條ノ期間ハ郵便ニ依リ書類ヲ差出シタル場合ニ於テハ其ノ遞送ニ要スル日時ヲ算入セス

第七條 通知ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ内務大臣カ定メタル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第八條 書類ノ送達ニシテ送達者自ラ送達セサル場合ニ於テハ使丁又ハ書留郵便ニ依ルコトヲ得

第九條 數人カ一人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ一通ノ書類ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

一人カ數人ノ代理人ヲ有スル場合ニ於テ其ノ代理人ニ爲スヘキ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 委任ニ因ル代理人アル場合ニ於テモ其ノ委任者ニ爲シタル送達ハ其ノ效力ヲ妨ケス

第十一條 無能力者ニ對スル送達ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ爲スヘシ但シ委任ニ因ル代理人アルトキ

土地收用法第六條ニ基キテ發スル命令ノ件



ハ此ノ限ニ在ラス

一七六

法人又ハ組合ニ對スル送達ハ其ノ代表者又ハ業務執行者ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ代表者又ハ業務執行者數人アル場合ニ於テハ送達ハ其ノ一人ニ之ヲ爲ストヲ得

組合ニシテ業務執行者ヲ定メサル場合ニ於テハ送達ハ其ノ組合員ノ一人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十二條 現役及召集中ノ豫備、後備ノ軍籍ニ在ル下士以下ノ軍人ニ對スル送達ハ其ノ所屬ノ長官又ハ隊長ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十三條 在監人ニ對スル送達ハ其ノ監獄ノ首長ニ之ヲ爲スヘシ

第十四條 送達ハ送達ヲ受クヘキ人ノ現所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ送達ヲ受クヘキ人カ其ノ地ニ於テ住所、居所又ハ事務所ヲ有スル場合ニ於テ其ノ受領ヲ拒ミタルトキハ之ヲ適用セス

第十五條 送達ヲ受クヘキ人其ノ住所、居所又ハ事務所ニ在ラサルトキハ其ノ送達ハ現場ニ在ル成年ノ同居者又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第十一條第二項ノ場合ニ於テ代表者又ハ業務執行者事務所ニ在ラサルトキハ送達ハ現場ニ在ル他

ノ役員又ハ成年ノ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

第二項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲スコト能ハサルトキハ其ノ送達ハ交付スヘキ書類ヲ其ノ地ノ市町村長ニ預ケ送達ノ告知書ヲ作り之ヲ住所又ハ居所ノ門戸ニ貼付シ且近隣ニ住居スル者二人以上ニ口頭ヲ以テ通知シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 法令上ノ理由ナクシテ送達書類ヲ受領セス又ハ受領スルコト能ハサルトキハ其ノ書類ヲ送達ノ場所ニ差置クコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十七條 書類ノ送達ヲ受領シタル者ハ其ノ場所及年月日時ヲ記載セル受領證ヲ交付スヘシ

前項ノ受領證ヲ交付セス又ハ交付スルコト能ハサルトキ又ハ第十五條第三項ノ規定ニ依リ送達ヲ爲シタルトキハ送達人ハ其ノ調書ヲ作ルヘシ

第十八條 送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所又ハ事務所不明ナルトキハ收用又ハ使用スヘキ土地所在ノ市町村長ニ於テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ公告ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタルトキハ送達ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條 書類ノ送達ニ關スル規定ハ通知ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

土地收用法第六條ニ基キテ發スル命令ノ件

一七七



第二十條 訴願及訴訟提起期間ノ計算法ハ訴願法行政裁判法及民事訴訟法ノ規定ヲ適用ス  
第二十一條 書留郵便ニ依リテ爲ス送達ニ付テハ郵便ニ關スル法令ノ規定ヲ適用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件

(明治三十三年三月三十日  
勅令 第三百二十九號)

第一條 收用審査會ノ費用中左ニ掲ケタルモノハ起業者ノ負擔トス

一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當

二 裁決書謄本ノ調製費

三 郵便及電信料

四 傭人料

五 其ノ他内務大臣ノ指定シタルモノ

第二條 收用審査會ノ費用中收用審査會會長及高等文官ニシテ委員タル者ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費  
ヲ以テ之ヲ支辨ス

第三條 土地收用法第五十九條ノ場合ニ要シタル費用ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地收用法第六十九條ニ依リテ發スル命令ノ件



### ○土地收用法第八十五條第三項ニ基キテ發スル命令

ノ件(明治三十三年三月三十日勅令第三百三十三號)

明治八年太政官達第三百三十二號公用土地買上規則ニ依リ買上ケ引續キ國有ニ屬スル土地ニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ヲ除クノ外土地收用法第八十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

- 一 公用土地買上規則第四則但書又ハ第八則ノ規定ニ依ラスシテ買上ケタル土地
- 二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ土地收用法施行ノ際現ニ修理保存費ヲ負擔スル土地
- 三 明治三十二年勅令第三百三十三號第一條ノ規定ニ依リ帝國ノ臣民又ハ法人ニ於テ所有權ヲ取得スルコトヲ得ヘキ土地
- 四 土地收用法施行前不用ニ歸シタル土地
- 五 土地收用法施行前第三者ニ讓渡スヘキ契約ヲ爲シタル土地

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ○行政執行法抄(明治三十三年六月二日法律第八十四號)

第四條 當該行政官廳ハ天災、事變ニ際シ又ハ勅令ノ規定アル場合ニ於テ危害豫防若ハ衛生ノ爲必  
要ト認ムルトキハ土地、物件ヲ使用、處分シ又ハ其ノ使用ヲ制限スルコトヲ得

第五條 當該行政官廳ハ法令又ハ法令ニ基ツキテ爲ス處分ニ依リ命シタル行爲又ハ不行爲ヲ強制スル爲左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徴收スルコト
  - 二 強制スヘキ行爲ニシテ他人ノ爲スコト能ハサルモノナルトキ又ハ不行爲ヲ強制スヘキトキハ命令ノ規定ニ依リ二十五圓以下ノ過料ニ處スルコト
- 前項ノ處分ハ豫メ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス但シ急迫ノ事情アル場合ニ於テ第一號ノ處分ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス
- 行政官廳ハ第一項ノ處分ニ依リ行爲又ハ不行爲ヲ強制スルコト能ハスト認ムルトキ又ハ急迫ノ事

土地收用法第八十五條第三項ニ基キテ發スル命令ノ件 行政執行法抄



情アル場合ニ非サレハ直接強制ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 第三條及第五條ノ費用及第五條ノ過料ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

行政官廳ハ前項ノ徵收金ニ付國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第一項ノ費用及過料ニ關スル繰替支辨、收入ノ所屬其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

### ○行政執行法施行令抄

(明治三十三年六月二日勅令第二百五十三號)

第四條 行政執行法第五條ノ過料ハ處分ヲ爲ス行政官廳ノ區別ニ從ヒ左ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 各省大臣 二十五圓

二 廳府縣長官 十圓

三 其ノ他ノ行政官廳 二圓

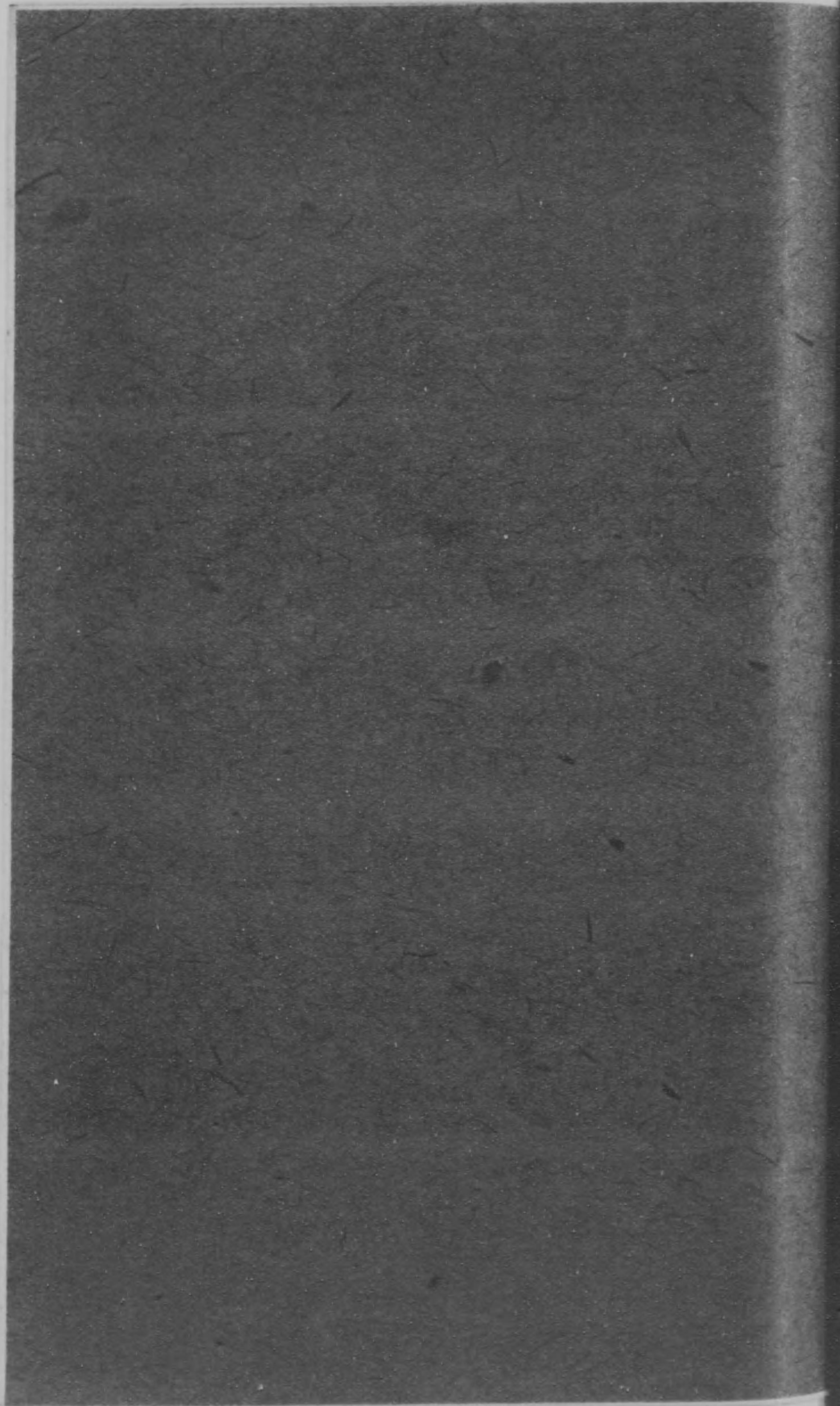
第五條 行政執行法第五條ノ戒告ハ履行期間ヲ定メ且書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第六條 行政執行法第五條ノ費用ノ徵收ハ現ニ要シタル費用及其ノ納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ

過料ノ處分ハ其ノ金額及納期日ヲ決定シ決定書ノ正本ヲ義務者ニ交付シテ之ヲ爲スヘシ

第七條 行政執行法第五條ノ費用ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ヨリ之ヲ支出シ其ノ徵收金及過料ハ事務費ノ所屬ニ從ヒ國庫又ハ府縣經濟ニ收入スヘシ





*[The text on this page is extremely faint and illegible. It appears to be a title page or a page of introductory text, but the characters are too light to transcribe accurately.]*